

# 花畑団地

## 地区防災計画

花畑ささえあいプロジェクト  
2023年7月

# 地区防災計画 目次

<b>1. 花畑ささえあいプロジェクトとは</b>	<b>……………P2</b>
1-1. 花畑ささえあいプロジェクトとは	
1-2. 花畑ささえあいプロジェクト 協力組織一覧	
<b>2. 地区防災計画の目的と対象</b>	<b>……………P6</b>
2-1. 地区防災計画の目的と位置づけ	
2-2. 地区防災計画の対象、範囲	
2-3. 花畑団地における現状の課題	
2-4. 地区防災計画における指針	
<b>3. 地区の特徴・被害想定の確認【地震編】</b>	<b>……………P11</b>
3-1. 地区の特徴	
3-2. 被害想定	
3-3. 避難について	
<b>4. 地区の特徴・被害想定の確認【水害編】</b>	<b>……………P19</b>
4-1. はじめに	
4-2. 足立区/花畑地区の水害リスク	
4-3. 被害想定	
4-4. 警戒レベルについて	
4-5. 避難について	
4-6. 情報の入手	
<b>5. 平時からの備え</b>	<b>……………P34</b>
5-1. 平時からの活動	
5-2. 家具転倒防止対策	
5-3. 備蓄品	
<b>6. 花畑地区における災害時の状況</b>	<b>……………P38</b>
6-1. 災害時における花畑地区の状況	
6-2. 各組織の災害時タイムライン	
6-3. 各組織の災害時タイムラインマップ	
参考 マイタイムラインを作成しよう！	
<b>7. 災害対策本部の立ち上げと体制</b>	<b>……………P53</b>
7-1. 災害対策本部の位置づけと役割	
7-2. 災害対策本部の立ち上げの手順	
7-3. 災害対策本部の体制図・役割分担	
<b>8. 災害時の活動</b>	<b>……………P57</b>
8-1. 情報確認手段・伝達経路	
8-2. 安否確認推進活動	
8-3. 団地防災マップ	
<b>9. 日常での防災活動</b>	<b>……………P63</b>
9-1. 防災訓練の実施計画	
9-2. 地区防災計画の更新計画	

# 1. 花畑ささえあいプロジェクトとは

## 1-1. 花畑ささえあいプロジェクトとは

花畑団地周辺では、活発な活動を継続している花畑団地自治会、学びを続けながら地域でも活動を行う大学生が集う文教大学、住民の方々の日々の生活をサポートする施設や足立区社会福祉協議会、生活を多方面から支援する足立区役所など多様な方々が暮らしを支えています。

より素敵な暮らしを生み出すために、それぞれが専門や得意な視点を活かしながら、助けがほしいところは他の組織に教えてもらい、協働して活動を行う環境を整えたいと考えました。

そして、多様な活動をしている中で、みんなが一斉に困る、助けを求める瞬間は、いつか考えた時に私たちは「災害時」であると捉えました。何かから協働の習慣を生み出すことができるかと考え、みんなが同時に助け合いを求める「災害時」の計画をまずは、立ててみよう！と動き出しました。

花畑団地周辺地域でみんなが助け合いを求める「防災」をテーマとした緩やかな連携体制を構築し、地域活動や助け合いを気軽に続けていける関係をつくることを目指し、令和4年7月に立ち上がった取り組みが、**「花畑ささえあいプロジェクト」**です。

### **【要チェック！】『ささえあい』**

お互いさまの助け合いの関係性を日頃からつくるプロジェクトです。

以下のことを意識しておきましょう。

- 強制して参加するようなプロジェクトではない。
- 「誰か」がやってくれるのではなく、参加者が自ら活動するプロジェクト。
- どんな人がプロジェクトに関わっているのかな、とお互いに関心を持つところから始まる。

## 1-1. 花畑ささえあいプロジェクトとは

### <みんなでつくろう防災計画（地区防災計画作成ワークショップ）>

花畑ささえあいプロジェクトの取り組み第一弾として、令和4年8月より「みんなでつくろう防災計画（地区防災計画作成ワークショップ）」を行なってまいりました。

#### ①「地域を考える座談会」を実施（令和4年7月24日）

花畑団地自治会・地域事業者によるオンライン座談会を実施。  
花畑の未来をつくる貴重なご意見を多数いただきました。



※座談会の模様は下記QRよりご覧いただけます。



#### ② 全5回の地区防災計画ワークショップを実施（令和4年8月～令和5年7月） 本地区区防災計画の作成に向けて議論を進めてまいりました。

【第1回】令和4年8月7日（日） 実施 【参加者：50名】  
内容：地域課題の洗い出し、解決策のアイデア出し 他

【第2回】令和4年11月26日（土） 実施 【参加者：43名】  
内容：花畑地区における災害時の動き、タイムラインの確認・共有 他

【第3回】令和5年1月28日（土） 実施 【参加者：45名】  
内容：災害対策本部の検討、情報収集方法の検討 他

【第4回】令和5年4月22日（土） 実施 【参加者：50名】  
内容：安否確認方法の検討、体制図の検討 他

【第5回】令和5年7月1日（土） 実施 【参加者：48名】  
内容：地区防災計画未定箇所の検討、団地歩き（危険箇所の確認等） 他



## 1-2. 花畑ささえあいプロジェクト 協力組織一覧

### 【協力】

- ・足立区地域包括支援センターはなはた
- ・株式会社URコミュニティ
- ・社会福祉法人あいのわ福祉会 花畑あかしあ園
- ・社会福祉法人 足立区社会福祉協議会
- ・社会福祉法人聖風会 足立新生苑
- ・社会福祉法人檸檬会 レイモンド花畑保育園
- ・花畑団地自治会
- ・花はたりハビリテーション病院
- ・リハビリホーム花はた（サ高住）

### 【後援】

- ・足立区
- ・スーパーベルクス
- ・文教大学

### 【事務局】

- ・独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）
- ・株式会社いのちとぶんか社（旧：株式会社百年防災社）

※敬称略、五十音順

※令和5年7月末時点

## **2. 地区防災計画の目的と対象**

## 2-1. 地区防災計画の目的と位置づけ

本地区防災計画は、災害など緊急事態が発生した際に住民や花畑団地周辺に所在する事業所等が中心となり、**支え合って、乗り越えられる体制**を整えておくことを目的としています。

緊急事態発生時には、在宅避難者の方も含め自らのことは**自らが行う【自助】を原則**として、花畑ささえあいプロジェクトの**メンバーを中心とした地域関係者同士で助け合う【共助】を大切に**、互いに協力しながら緊急時における生活環境を確保し、地域全体で1日も早い再建を目指していきます。

本地区防災計画は、災害が発生する前に地域の皆様が決めた「約束事」がまとめられています。緊急事態が発生した際は状況が刻一刻と変わる中で、**臨機応変な対応**が求められます。事前に決めた「約束事」を守らなければならないと決めつけるのではなく、状況によって、会話をしながら判断を繰り返し、行動していかなければなりません。しかし、事前に決めた「約束事」がなければ早急な判断を遂行する基準もなく、緊急事態に混乱が発生する可能性があります。よって、事前に決めた「約束事」＝地区防災計画＝緊急事態の判断の基準、と捉え、**緊急時の円滑な対応を目指すための指針**として、地区防災計画は位置づけられます。

「誰かがやってくれる」ではなく、**【自助】はあたりまえ**、自分や家族の命を守ることができたら視野を広げて**【共助】の行動に自ら動くことができるように**、平常時から地域における「約束事」を皆が理解しておく必要があります。

また、「**一度まとめたら完成**」ではなく、環境や状況が変わるごとにメンバー同士で話し合い、更新を続けていく計画です。その都度見直して、皆様独自の「約束事」を十分に理解できるよう話し合い、**作り続けることが大切**です。

緊急時に判断するための会話を円滑に進め、対応が滞ることなくできるだけ早急な行動につながられるよう日頃からお互いを知り、良好な関係性を丁寧に構築しておきましょう。

## 2-2. 地区防災計画の対象、範囲

本地区区防災計画は、花畑団地と周辺事業所等が所在する地域を対象とします。

### 花畑ささえあいプロジェクト

住民と地域関係者（足立区、大学、高齢者施設、保育園等）との協働による地区防災計画策定をきっかけとした緩やかな連携体制づくりを推進

#### 文教大学

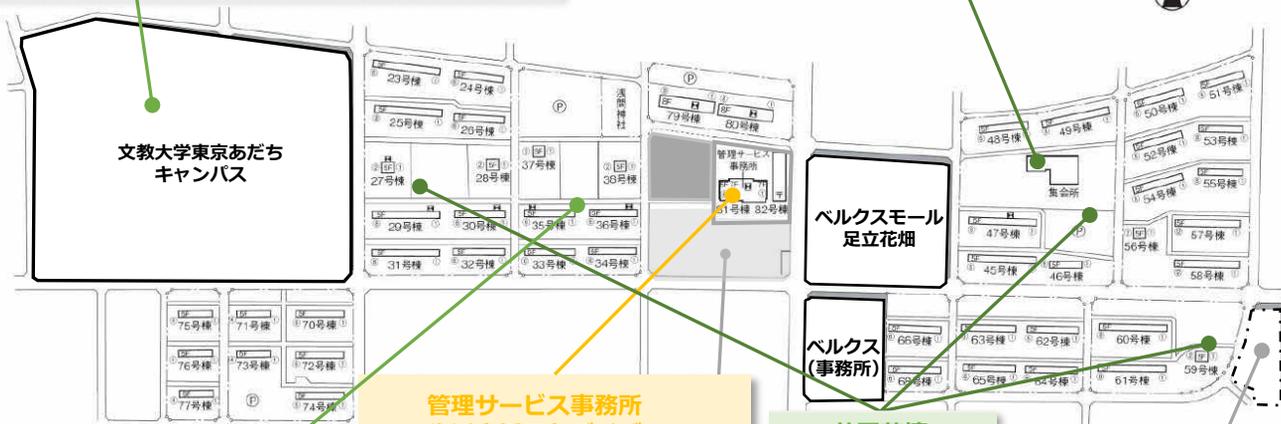
文教大学東京あだちキャンパスがR3.4開学。国際学部、経営学部が湘南キャンパスから移転。



#### サロンなごみ



団地自治会が集会所の一部で運営するコミュニティサロン。高齢者のみまもりのために、ふれあい喫茶、相談窓口等を開設。



#### 広場・緑道の再整備

団地再生事業を通じて、地域で育まれた緑を回廊により緑地・公園・広場と結ぶことで環境のネットワークを整備し、交流の場としてのスペースを創出。

- ・花はたりハビリテーション病院
- ・リハビリホーム花はた

回復期リハビリ病院180床、サービス付き高齢者向け住宅100戸を開設。



#### 共同花壇

自治会サークル「いこいの会」が運営する花壇。



#### レイモンド花畑保育園

団地内区営保育園の老朽化及び定員拡充のために開設された認可保育園。



### 【要チェック！】周辺の施設に関心を持つ

日頃から生活している花畑団地周辺地域で少し視野を広げてまちを眺めてみましょう。

団地にはどんな年齢層でどんな生活をしている方が生活しているかな？

大学生は、何時頃に大学に来て、何時くらいに家に帰るのかな？

地域でどんな行事やイベントが行われているのかな？

それぞれの施設で行われている取り組みやお教室はどんなことがあるのかな？

まずは、周りを見渡して、「地域を知る」と、新しい発見や協働の機会が生まれるかもしれません。

## 2-3. 花畑団地における現状の課題

地区防災計画ワークショップにて下記の課題が挙がりました。

- ① 災害発生時に避難所運営など動員数が決まっているが、誰がどのような動きをするのか具体的に決まっていない。
- ② 災害時に地域のために行動しようとする人数が限られており、かつ年齢層が高い。
- ③ そもそも近所の方と交流がない。
- ④ 周辺住民にどのように声をかけたらいいかわからない。
- ⑤ 地域内に在する事業所など各団体の災害時の状況がわからない。

本地区防災計画ではこれらの課題を解決し、災害時に皆様が円滑に助け合える関係性を構築することを目的としています。

## 2-4. 地区防災計画における指針

- ① 自分のことは自分で守る。【自助】の意識はあたりまえと捉える。
- ② 自分と身近な家族などの安全の確保ができれば、  
ささえあいの意識を持ち、  
視野を広げて地域における【共助】に目を向ける。
- ③ 「助けられることに遠慮する」行動はしない。
- ④ 決して無理をせず、できることをできる人が始める。
- ⑤ 地区防災計画に示されたことはあくまでも事前の約束事。  
臨機応変な判断の基準と位置づける。
- ⑥ 緊急事態における対応の負担が、  
限られた人に偏らないように役割分担を常に意識する。
- ⑦ 環境や状況の変化に合わせて、住民自ら地区防災計画の更新を続ける。
- ⑧ 対象地域内のできるだけ多くの住民や関係者と共有できるよう  
「情報発信」を怠らない。
- ⑨ 緊急時に【共助】体制が整うために、  
日常から助け合う【共助】を意識する。

## **3. 地区の特徴・被害想定の確認**

### **【地震編】**

## 3-1. 地区の特徴

東京駅から約 30km圏 の足立区北東部、埼玉県草加市との境界付近に位置している。

東武伊勢崎線「竹ノ塚駅」より北東に約2km（バス10分）、

東武伊勢崎線「谷塚駅」より南東に約1km、

首都圏新都市鉄道つくばエクスプレス「六町駅」より北西に約3km（バス12分）のところにあります。

花畑団地は、UR都市機構により昭和39年に管理開始された約1,600戸の大規模団地。

団地の南側には地域住民の憩いの場となる花畑公園・花畑記念庭園、北側には毛長川と帯状に連なる毛長公園など豊かな自然が広がっています。

### <花畑団地周辺の災害に関連する主な特徴>

（道路）

- ① 地域周辺の道路は、比較的平坦な道が続く。
- ② バス通りに面し、交通量は多い。
- ③ バス通り沿いの歩道は広いが自転車も多く走行する。
- ④ 一部に狭い道路（道幅 4mに満たない道路）がある。

（河川）

- ⑤ 北側に毛長川が位置し、河川増水の際には注意が必要である。
- ⑥ 対象地域内の標高（※）は、約3メートル。  
※ 標高 = 東京湾平均海面からの高さ

（建物）

- ⑦ 団地の建物は倒壊の危険性は低く、在宅避難が基本となる。

（その他）

- ⑧ 対象地域内に在住する住民が利用する避難所が、3か所設けられている。
- ⑨ 避難所が複数設けられることにより、避難所の運営に関わる人数が16名必要となっている。

## 3-2. 被害想定—地震編—

### 【地震発生における被害想定】

#### ① 首都直下地震の発生による東京の被害想定

南関東地域における首都直下地震（マグニチュード 7.3 規模）の発生確率は、今後 30 年以内に 70%といわれています。

表1は、首都直下型地震発生による東京の被害想定です。

その際の花畑団地周辺の震度は **6強**が予想されます。（図 1）

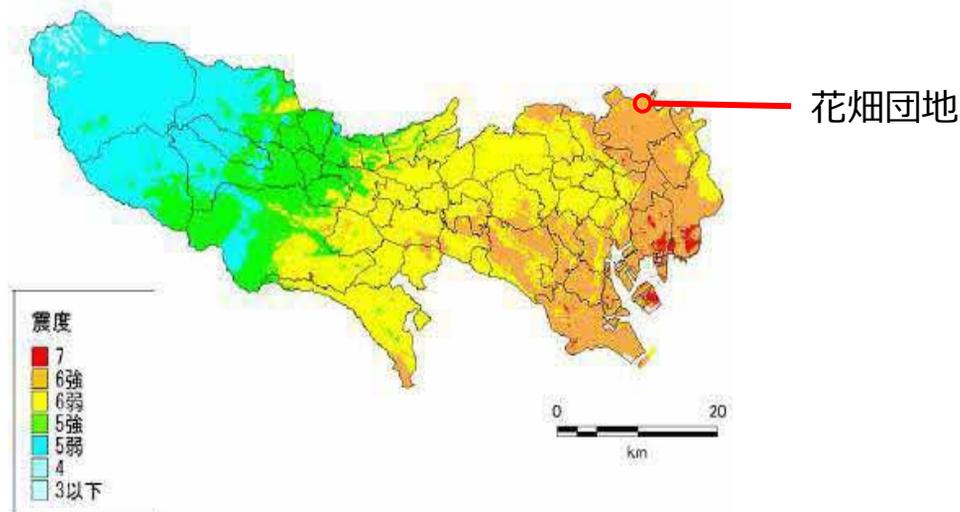


図1：首都直下地震等による東京の被害想定報告書（令和4年5月25日公表）  
出典：東京都防災ホームページ（<https://onl.sc/PeLWwgY>）

表1：【想定地震(首都直下地震)発生による東京の被害想定】

条件：マグニチュード7.3 冬の夕方（風速8m/秒）

		都心南部直下地震	多摩東部直下地震
建物被害[全壊・焼失](棟)		約19万	約16万
死者数(人)		約6,100	約5,000
負傷者数(人)		約93,000	約81,000
避難者数(人)		約299万	約276万
ライフライン	電力	発災直後～1日後は <b>広範囲で停電が発生</b> 。その後、1週間後まで計画停電が継続する可能性あり。1ヶ月後を目処に多くの地域で供給が再開される。	
	上水道	発災直後～1日後は <b>断水が発生</b> 。その後、1週間後を目処に断水・濁水が段階的に解消されるが、 <b>浄水施設等が被災した場合、断水が長期化する可能性あり</b> 。	
	下水道	発災直後～1日後は下水利用が制限。1ヶ月後を目処に利用制限が解消される。 <b>排水管等の修理が終了するまで、集合住宅では水道供給が再開してもトイレ利用が不可になる</b> 。	
	ガス	発災直後～1日後は <b>広域的に供給が停止</b> 。その後、3日後～1週間後まで一部利用者への供給停止が継続する見込み。1ヶ月後を目処に多くの地域で供給が再開される。	
	通信	<b>発災直後から音声通話はつながりにくく、メール、SNS等の大幅な遅配等が発生</b> 。1週間後を目処に順次通信が回復するが、被害状況によっては長期にわたり不通となる可能性あり。	

出典：東京都防災会議「東京都の新たな被害想定」（令和4年5月25日公表）

※上記出典を基に表1を作成

東京都防災ホームページ（<https://onl.bz/JPsfWQq>）

## 3-2. 被害想定 ー地震編ー

### ② 首都直下地震発生による足立区の被害想定

表2は、令和4年5月に東京都が発表した新たな被害想定の中から、足立区の部分を抽出したものです。

- ・震源地：東京23区南部を震源とした地震（都心南部直下地震）
- ・規模：マグニチュード7.3
- ・発生の時期：冬の夕方午後6時
- ・自然条件：風速8m/秒

**表2：【想定地震(首都直下地震)発生による足立区の被害想定】**

出典：令和4年5月に東京都が発表した新たな被害想定（足立区該当部分抽出）

足立区ホームページ（<https://www.city.adachi.tokyo.jp/saigai/bosai/bosai/kehatsu-higaisote.html>）

被害想定項目		旧想定	新想定
建物被害	全壊棟数	10,082	11,952
焼失棟数	全壊建物を含む	16,124	13,546
人的被害 (人)	死者	712	795
	負傷者	9,033	8,507
避難者 (一日後発生数)	避難所へ避難する者(避難所避難者)及び避難所外避難者	280,862	286,932

※津波については、河川敷等で一部浸水の恐れがあるが、建物の倒壊や、死者などの被害は生じないと想定。

※ライフライン被害に関する想定为例として、停電率がある。

停電率とは、停電する軒数（停電軒数）を電力の供給を受けている軒数（電灯軒数）で除したものを。

足立区の停電率は24.5%。

※被害想定は、あくまでも想定であり、緊急事態発生時の状況によって随時情報を入手し対応することが重要。

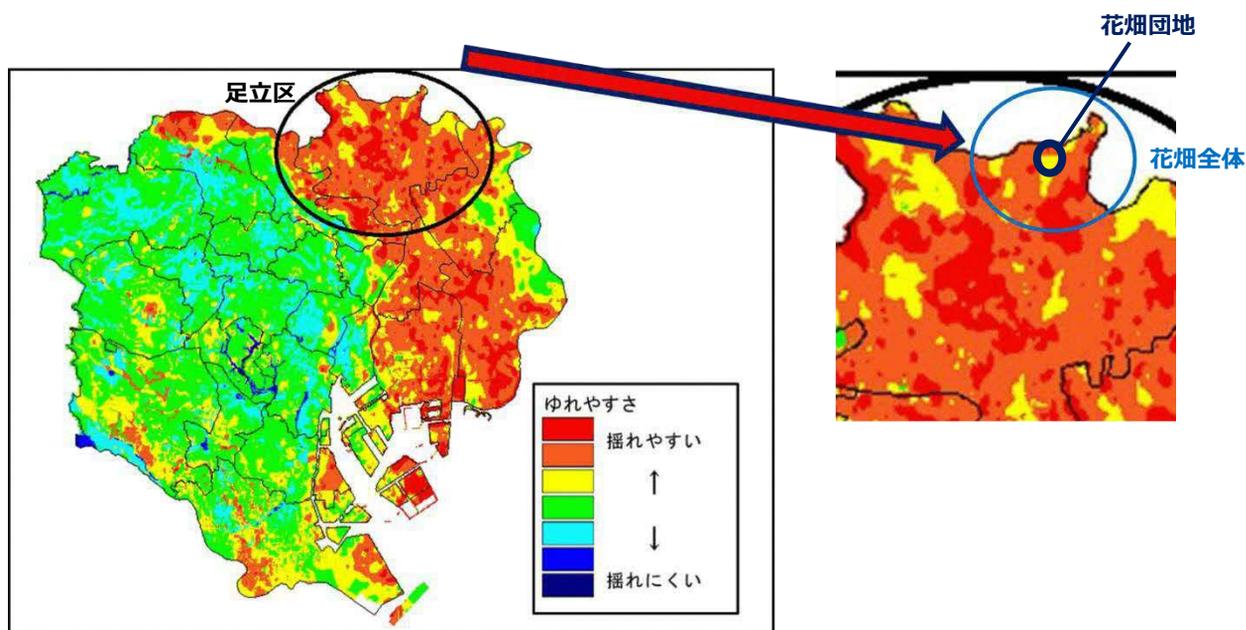


図2：東京都 首都直下地震等による東京の被害想定（令和4年5月25日公表）

出典：東京都防災ホームページ（<https://onl.sc/PeLWwgY>）

## 3-2. 被害想定 ー地震編ー

### [地域危険度]

表3は、東京都「地震に関する地域危険度測定調査（第9回）」で、町会の総合危険度を示します。

花畑団地を含む花畑5丁目の総合危険度は、「**ランク1**」。

表3：東京都「地震に関する地域危険度測定調査（第9回）」(令和4年9月公表)

出典：東京都都市整備局ホームページ

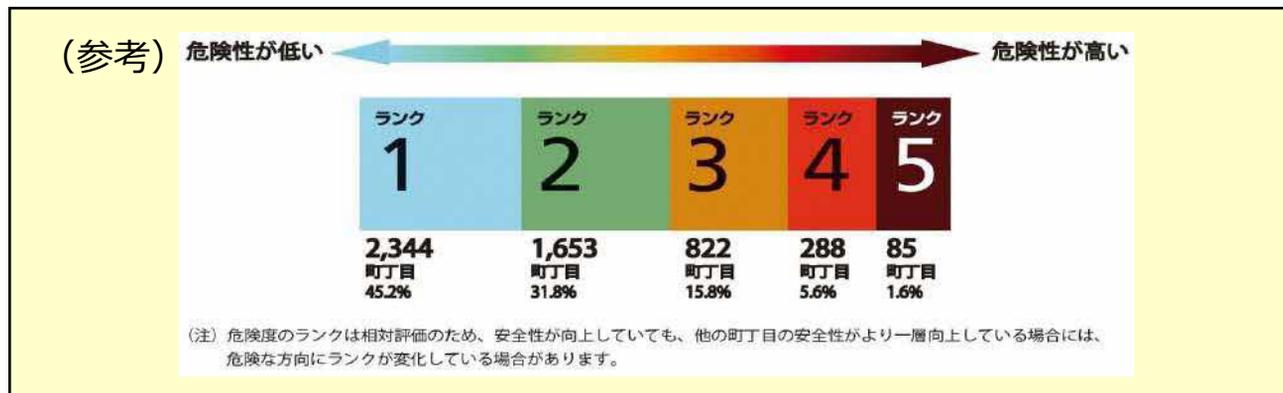
( [https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bosai/chousa\\_6/21adachi.htm](https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bosai/chousa_6/21adachi.htm) )

町丁目名	地盤分類	建物倒壊危険度			火災危険度			災害時活動困難係数	総合危険度		
		危険量(棟/ha)	順位	ランク	危険量(棟/ha)	順位	ランク		危険量(棟/ha)	順位	ランク
花畑5丁目	沖積低地4	0.94	3448	1	0.02	3863	1	0.12	0.12	3874	1
花畑3丁目	沖積低地4	3.56	960	3	0.16	1995	2	0.06	0.24	2837	2
花畑4丁目	沖積低地4	3.37	1029	3	0.11	2413	2	0.09	0.31	2325	2

※建物倒壊危険度…建物倒壊の危険性

※火災危険度…火災の発生による延焼の危険性

※総合危険度…上記2指標を合算し、災害時活動困難係数を乗じて、総合化したもの



### **[要チェック！]地域危険度を確認する際のポイント**

東京都「地震に関する地域危険度測定調査（第9回）」は、あくまでも想定です。

ランクが「1」だから安心ではなく、以下のことを意識しておきましょう。

- お住まいの周辺に危険個所はないか。
- 都内の他地域で大きな被害が発生し、交通網、物流網などにも影響が出たら、どう行動するか。
- よく外出する先、親戚の家などの危険度はどうなっているのか。そこから帰宅できるか。

## 3-2. 被害想定 -地震編-

### ① 地域危険度【建物倒壊危険度】

花畑団地は、「**ランク1**」

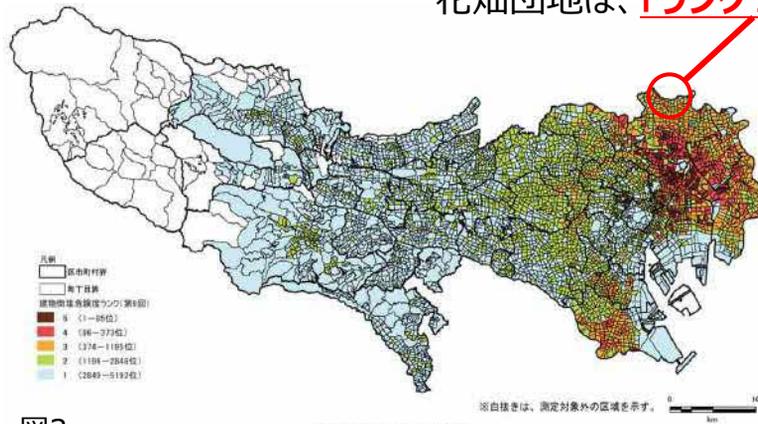


図3

### ② 地域危険度【火災危険度】

花畑団地は、「**ランク1**」

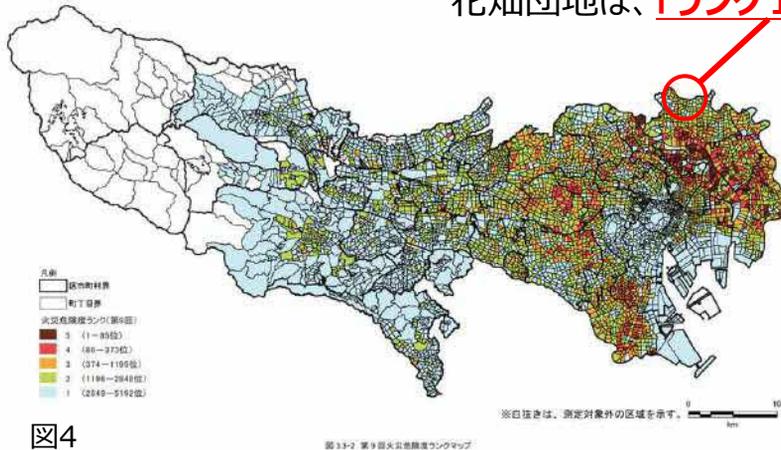


図4

### ③ 地域危険度【総合危険度】

花畑団地は、「**ランク1**」

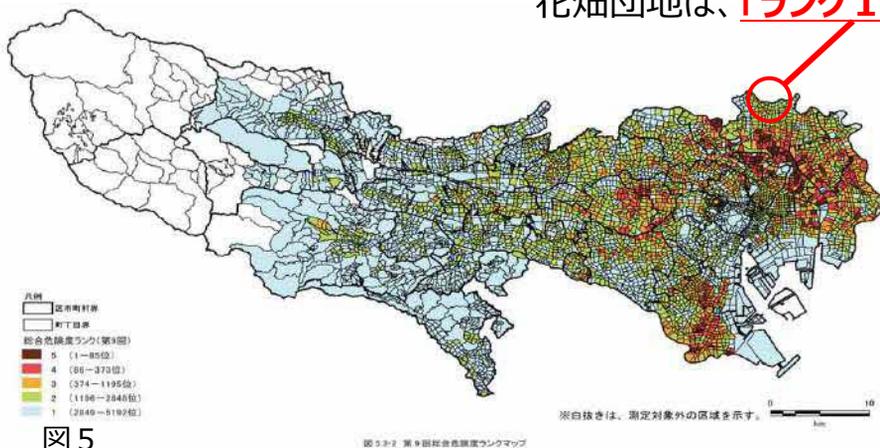


図5

図3~5：地震に関する地域危険度測定調査 | 東京都都市整備局（令和4年9月公表）  
 出典：東京都都市整備局ホームページ  
 ([https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bosai/chousa\\_6/home.htm](https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bosai/chousa_6/home.htm))

### 3-3. 避難について -地震編-

地震発生時は下記の流れに沿って行動してください。

次ページのマップを参考に、

ご自身の**一時集合場所・避難場所・一次避難所**を記入してみましょう。

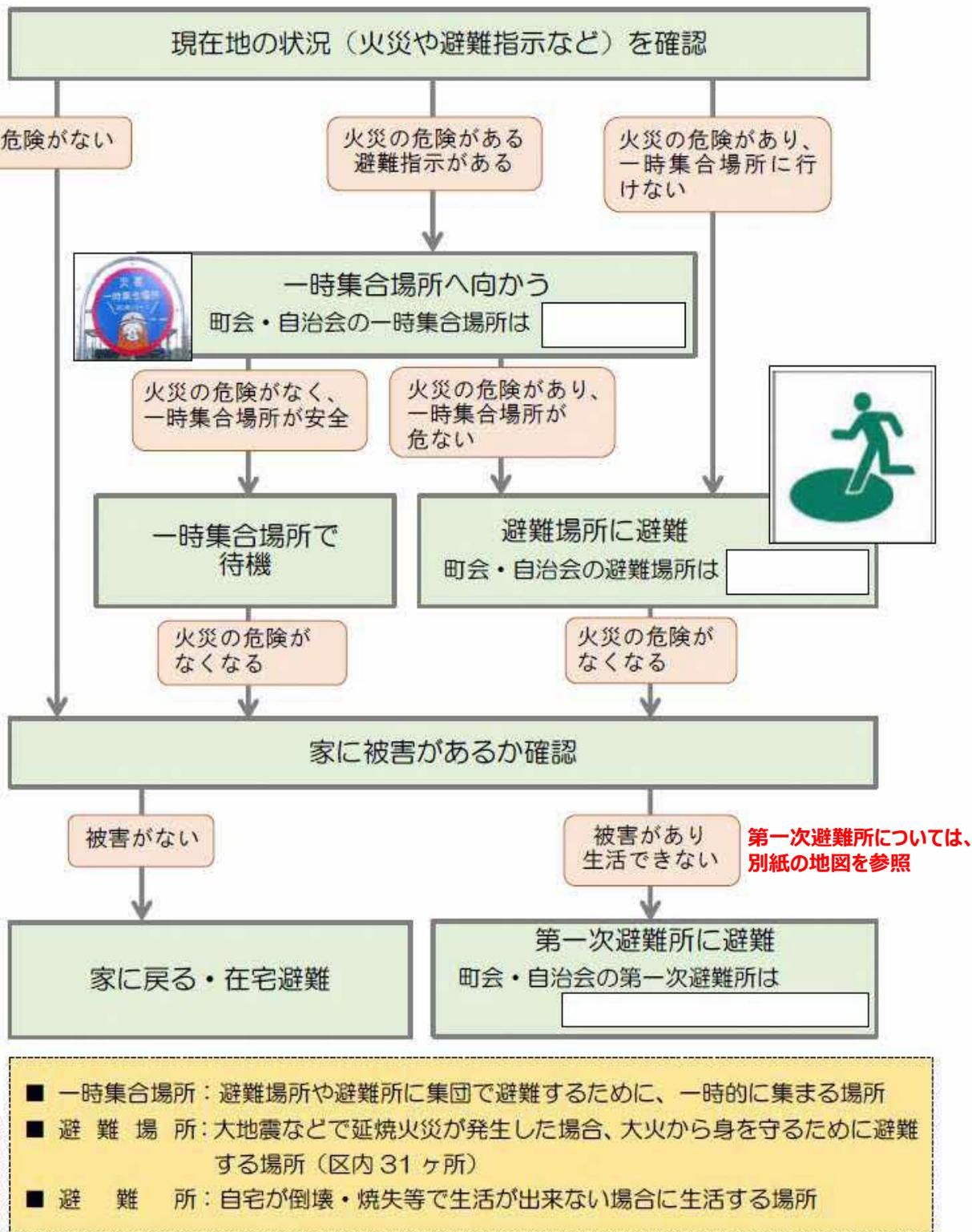


図6：「地区防災計画策定の手引き」足立区（令和元年11月21日公開）

出典：足立区ホームページ

（<https://www.city.adachi.tokyo.jp/saigai/20191118.html>）

### 3-3. 避難について ―地震編―

みなさんが避難する一時集合場所、第一次避難所の場所を確認しておきましょう。

【一時集合場所】 **花畑団地一帯**

【第一次避難所】

★で下記に示した **桜花小学校、花畑北中学校、花畑西小学校**



「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 181」

#### 【要チェック！】避難する場所について

当地域の「一時集合場所」は、花畑団地一帯となります。  
一帯のどこで大切な人と集合するのかを決めておくことが大切です。

- 具体的に一時集合場所のどこに何の建物の前で集合しますか。
- 決めていた集合場所に瓦礫等があり、危険な場所となっていたら、次の避難候補先はどこにしますか。  
また移動する際の目印は決めていますか。

## **4. 地区の特徴・被害想定の確認**

### **【水害編】**

## 4-1. はじめに ー水害編ー

大雨により河川の水位が上昇し、  
足立区から避難情報が発令されているにもかかわらず、  
「自分のところは大丈夫」と思っていないか？

近年、毎年のように日本各地で豪雨災害が起こり、  
深夜の豪雨や急激な川の水位上昇で避難が遅れ、  
甚大な被害が発生していることが報じられています。

一方、地域住民自らによる「自助」、地域コミュニティによる「共助」が、  
被害を最小限に食い止め、大きな成果を発揮することも明らかになっています。

水害は、地震とは違い、気象予報や河川の水位の情報などから、  
あらかじめ備えることができます。

特に、避難については、

- ・住んでいる地域の地形などの特性
- ・住宅の形式（団地の高層階なのか、低層階なのかなど）
- ・浸水想定（最大規模の浸水の深さなど）

を参考に、地域住民自らが判断することができます。

そのため、水害が起きる前に、

- ・どのように行動するか、
- ・事前に何を準備しておくのか、
- ・どのような訓練をしておくのか

を確認し、いざという時に慌てずに対応できるようにしておきましょう。

## 4-2. 足立区/花畑地区の水害リスク－水害編－

足立区は、河川が運んできた土砂の堆積により陸地が形成された沖積低地であり、区全域が標高 2 m 前後で、北西部がやや高く、南東部にかけて緩やかに傾斜しながら下り、一部では標高 0 m 地帯を形成しています。

### ■ 標高地形図

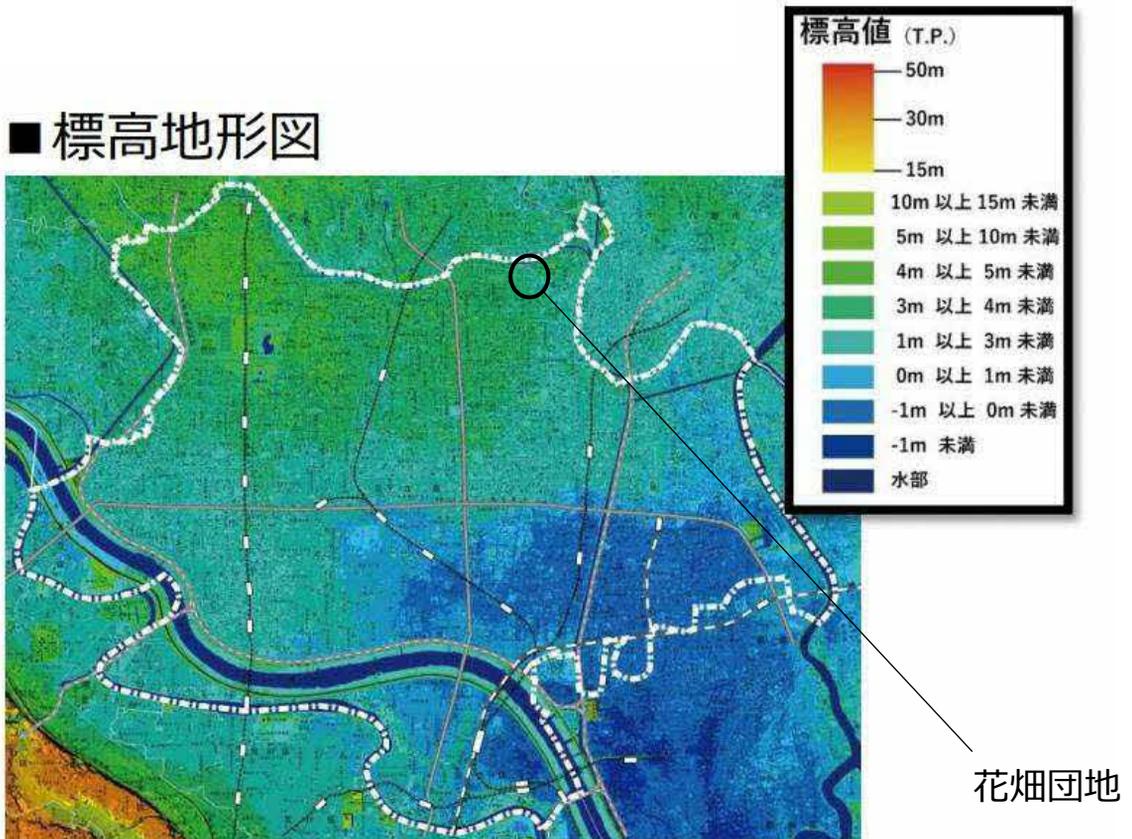


図7：国土地理院技術資料  
1：25,000 デジタル標高地形図「江戸川・中川・綾瀬川流域」を加工

出典：足立区 地区防災計画作成の手引き<水害編>  
( <https://onl.sc/HqmzmTj> )

## 4-2. 足立区/花畑地区の水害リスク－水害編－

昭和5年に完成した荒川（放水路）が区内を北西から南東に流れ、南を隅田川、東に中川、北に毛長川、西に新芝川と四方を河川で囲まれ、区の東部を南北に綾瀬川が縦断しています。まさに、四方を河川に囲まれた区です。

河川ごとに想定されている水害リスク、自宅や周辺の危険性を『足立区ハザードマップ』で把握するとともに、避難方法を確認し、ご自身の最適な避難方法を事前に検討しておきましょう。

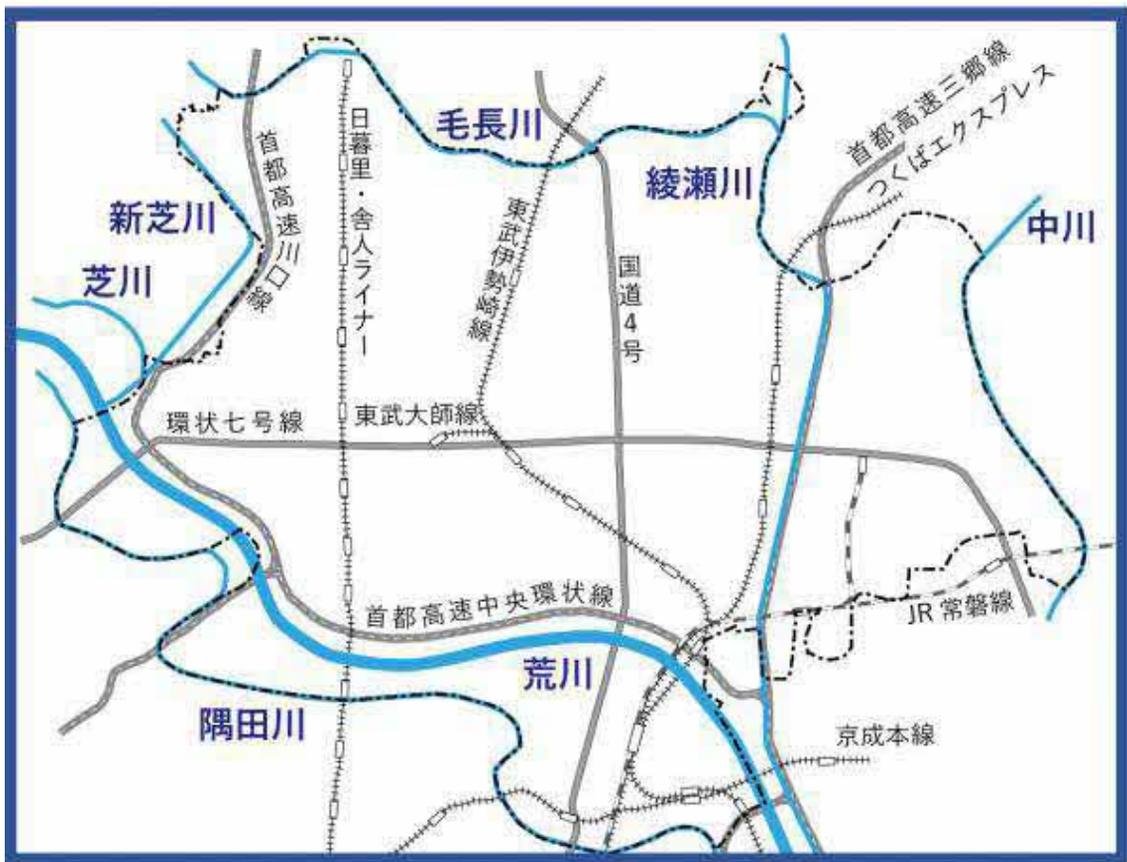


図8：足立区の河川

出典：足立区 地区防災計画作成の手引き〈水害編〉  
( <https://onl.sc/HqmzmTj> )

**各河川が増水した場合の浸水深、浸水継続時間などはP23～29を参照**

### 4-3. 被害想定 一水書編一 ① 荒川が氾濫した場合

荒川洪水想定地域の概要 埼玉熊田川方面の概要

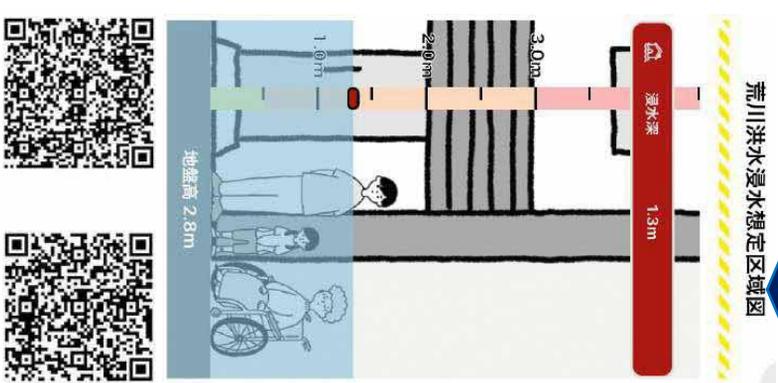


最大浸水深	早期立ち退き避難区域の有無	家屋倒壊等氾濫想定区域の有無	浸水継続時間	緊急避難建物
0.5m～3.0m未満	無	無	1日以上3日未満	桜花小学校 花畑中学校 文教大学

こちらの表では、  
最大浸水深・危険度・緊急避難建物を  
チェックしましょう。

花畑団地

東京都防災アプリで、  
自分の住んでいる場所の  
水害時の状況が確認できます。

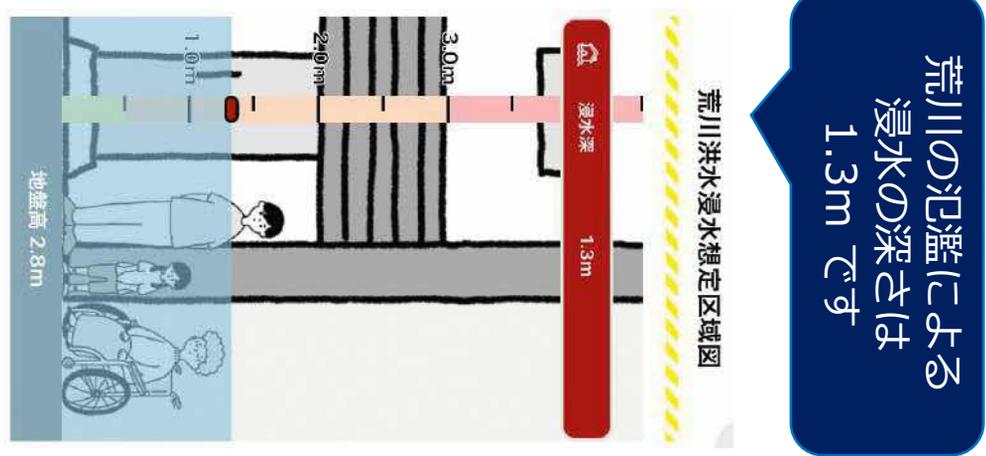
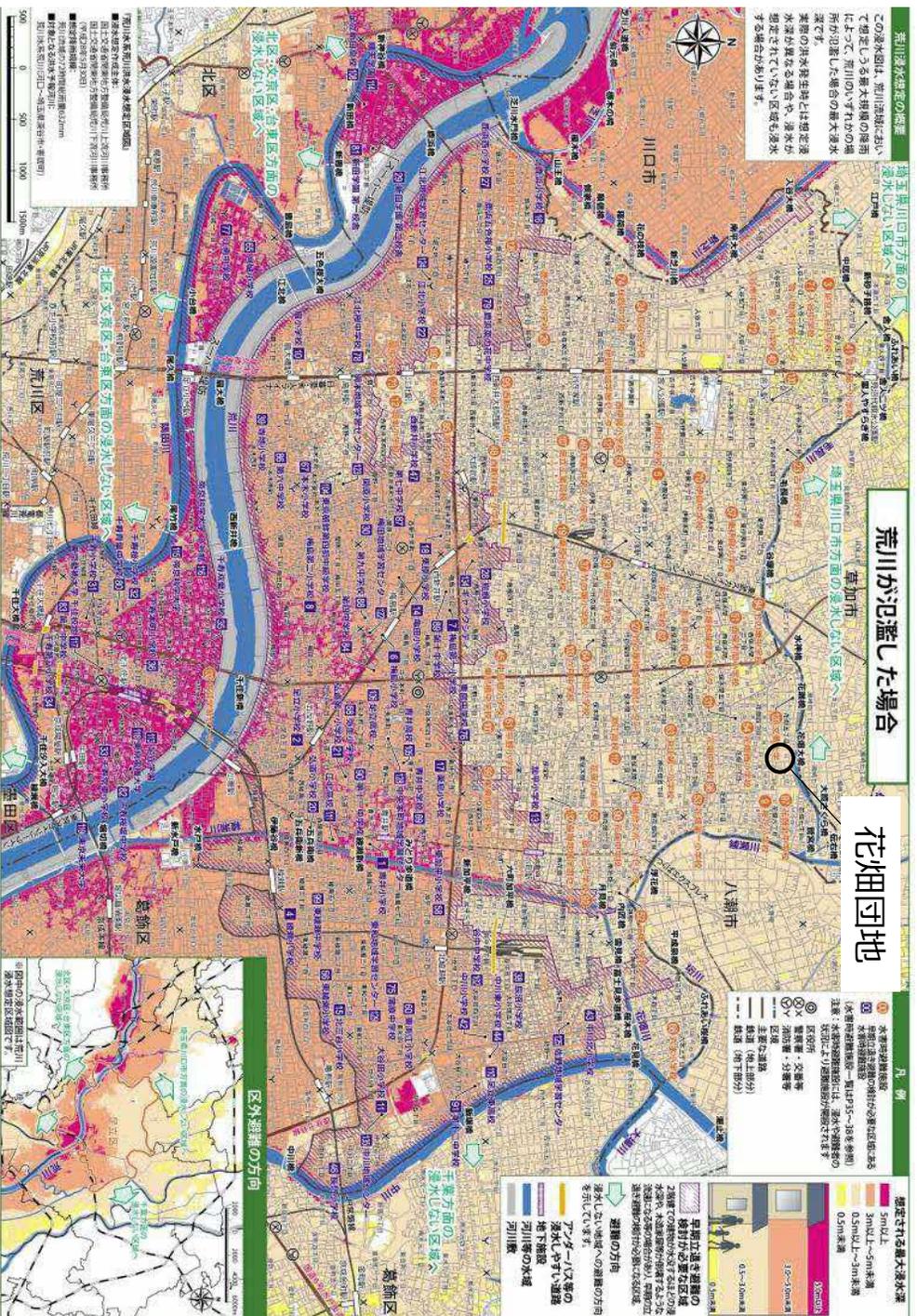


こちらの図は  
浸水時間を表した  
地図になります。

●川の氾濫による  
浸水時間は  
1日以上3日未満です

### 4-3. 被害想定 一水書編一 ① 荒川が氾濫した場合

図9：足立区ハゲードラツツ（令和4年4月改訂）  
出典：足立区ホームーシツ (<https://oni.sc/WcXCPTb>)



最大浸水深	早期立ち退き避難区域の有無	家屋倒壊等氾濫想定区域の有無	浸水継続時間	緊急避難建物
0.5m～3.0m未満	無	無	1日以上3日未満	桜花小学校 花畑中学校 文教大学

表3：足立区「荒川が氾濫した場合」ハゲードラツツ（令和4年4月改訂）  
出典：足立区ホームーシツ (<https://oni.sc/WcXCPTb>)



荒川の氾濫による浸水時間は1日以上3日未満です

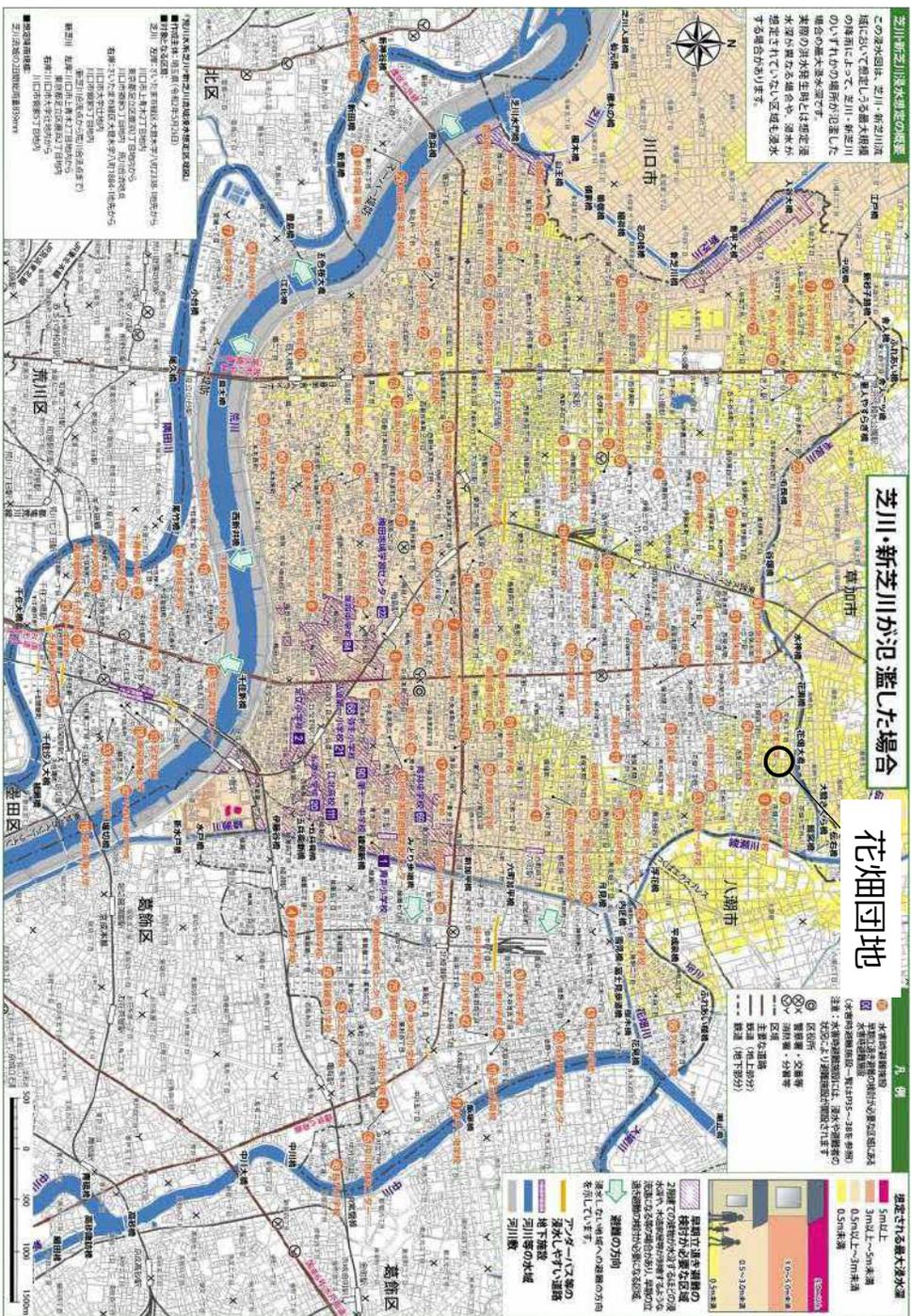




### 4-3. 被害想定 一水書編一

#### ④ 芝川・新芝川が氾濫した場合

図12：足立区ハゲードラッグ(令和4年4月改訂)  
出典：足立区ホムペーシ (<https://onl.sc/WcXCPTb>)



芝川・新芝川の氾濫  
による浸水の深さは  
0.2m です

#### 芝川・新芝川浸水想定区域図

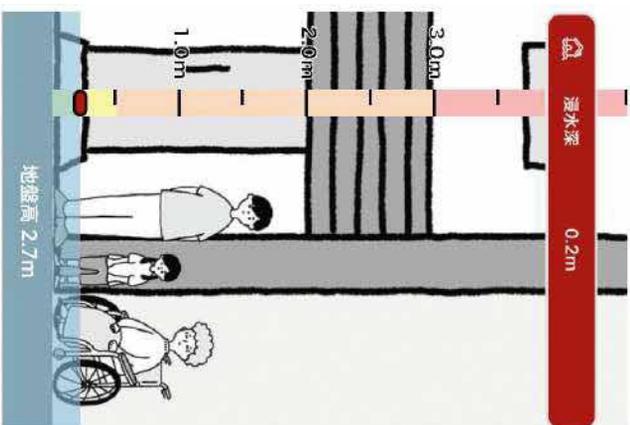


表6：足立区「芝川・新芝川が氾濫した場合」ハゲードラッグ(令和4年4月改訂)  
出典：足立区ホムペーシ (<https://onl.sc/WcXCPTb>)

最大浸水深	早期立ち退き避難区域の有無	家屋倒壊等氾濫想定区域の有無	浸水継続時間	緊急避難建物
0.5m未満	無	無	12時間以上1日未満(一部地域)	桜花小学校 花畑中学校 文教大学

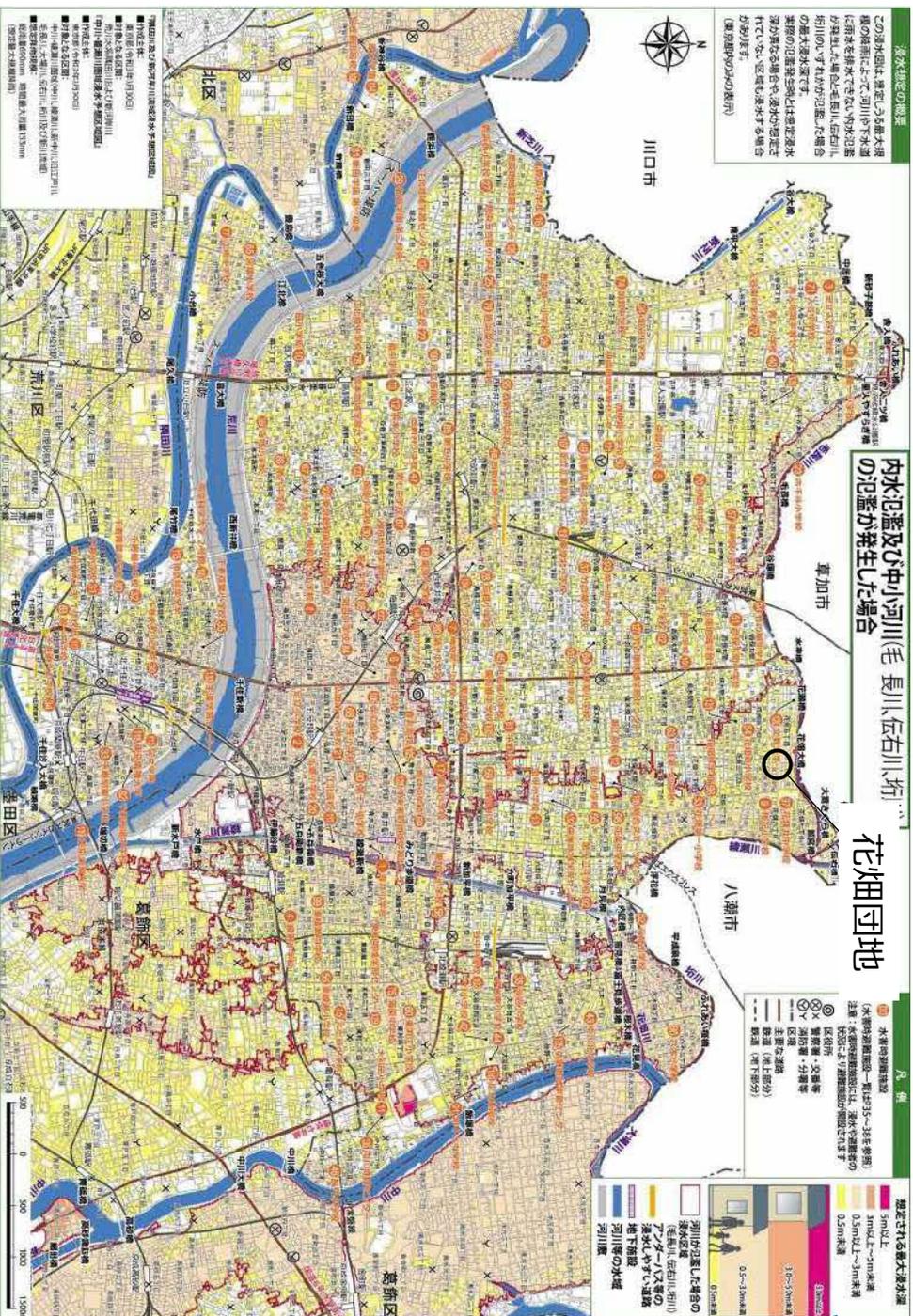


芝川・新芝川の氾濫  
による浸水時間は  
12時間以上1日未満です

### 4-3. 被害想定 一水書編一 ⑤ 内水氾濫及び中小河川（毛長川、伝右川、坊川）の氾濫が発生した場合）

※内水氾濫とは…大雨・豪雨の雨量が下水道、側溝、排水路の雨水処理容量を上回り、土地・建物や道路、地下道などが水浸しになる現象のことを示す。

図13：足立区「げーどろツツ」(令和4年4月改訂)  
出典：足立区ポータルページ (https://oni.s.c/W/cxCPtb)



外水氾濫は、河川の水が堤防を越えてあふれ出すものです。その一方で、内水氾濫とは、側溝や下水道の排水能力が追いつかなかつたり、河川の水位が上昇して排水出来ないうちに、側溝などから市街地に水があふれだすことを言います。

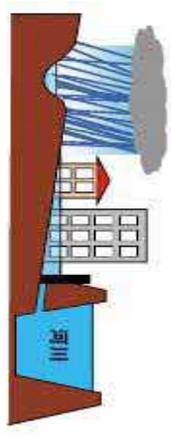
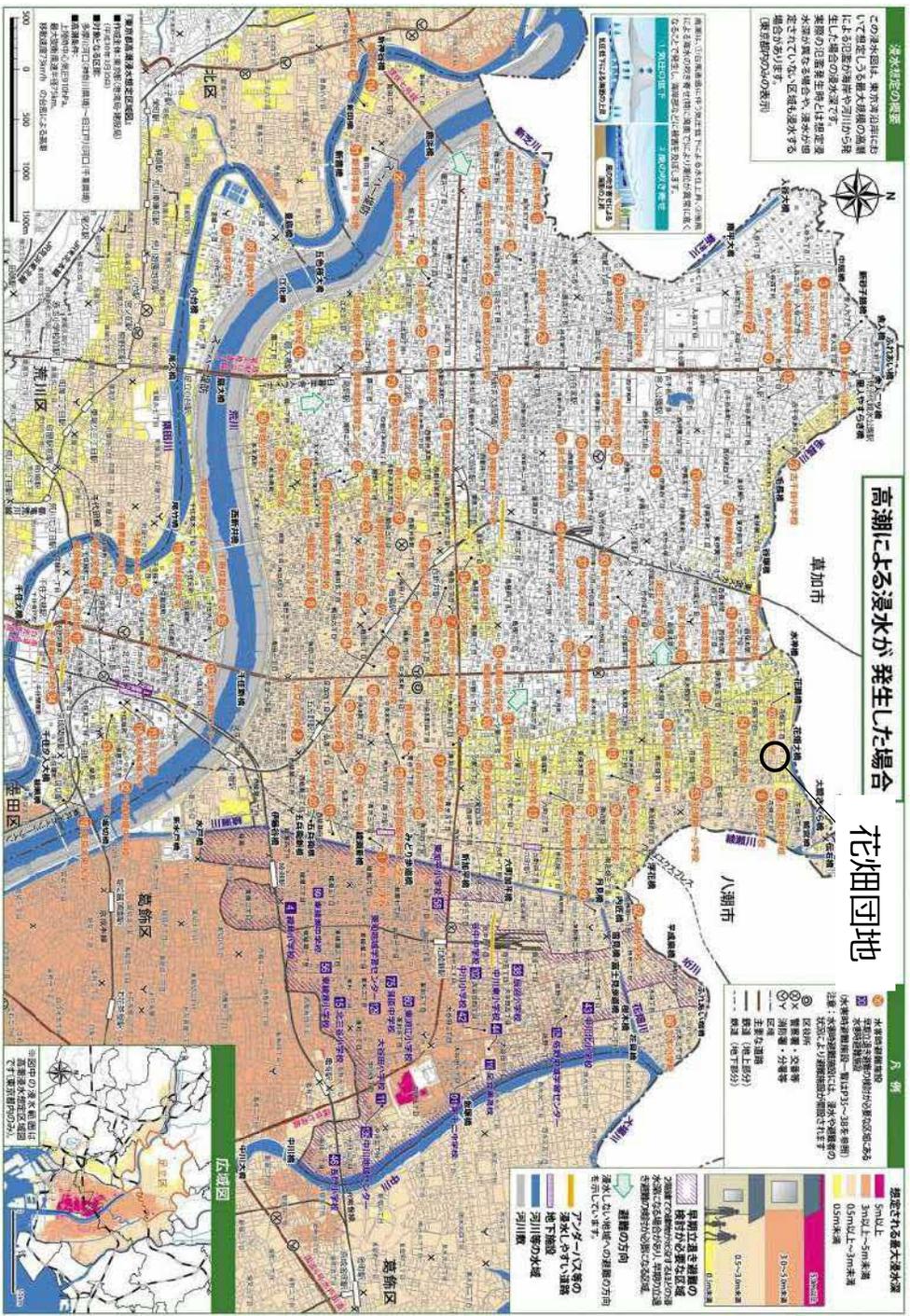


図14：内水氾濫とは  
出典：総務省消防庁「洪水・津波災害等における水難救助活動マニュアル」  
(https://www.fdma.go.jp/singi\_kento/kento/items/kento221\_23\_shiryo1.pdf)

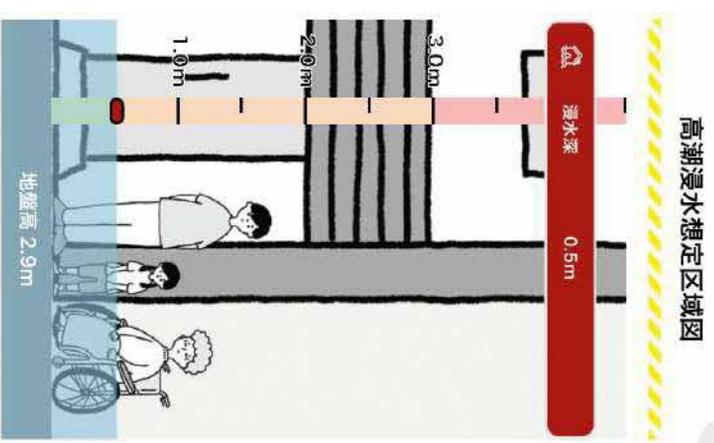


⑥ 高潮による浸水が発生した場合

図15：足立区ハゲードラック（令和4年4月改訂）  
出典：足立区ホムページ（<https://onl.sc/WcXCPTb>）



高潮による  
浸水の深さは  
0.5m です



最大浸水深	早期立ち退き 避難区域の有無	家屋倒壊等浸水 想定区域の有無	浸水継続時間	緊急避難建物
0.5m～3.0m未満	無	無	12時間以上1日未満 (一部地域)	桜花小学校 花畑中学校 文教大学

表8：足立区「高潮による浸水氾濫した場合」ハゲードラック（令和4年4月改訂）  
出典：足立区ホムページ（<https://onl.sc/WcXCPTb>）



高潮による浸水時間は  
12時間以上1日未満です

## 4-4. 警戒レベルについて -水害編-

区が発令する避難情報（警戒レベル）は、レベル1～レベル5の5段階。  
 気象庁や東京都、荒川下流河川事務所から発出される河川の水位や雨の情報も  
 参考にしながら**できるだけ早め、早めの行動**をとりましょう。

**警戒レベル3で高齢者等（一人で避難しづらい方）は避難、**  
 警戒レベル4で全員避難が基本。  
 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者に限らず、  
**全員が危険な場所から避難するタイミング**です。

名称：警戒レベル 発信者：市区町村等 内容：避難情報			名称：警戒レベル相当情報 発信者：気象庁や都道府県等 内容：河川の水位や雨の情報		
警戒 レベル	区民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報 (警戒レベル相当情報)		
			浸水の情報	土砂災害情報(雨)	
<b>5</b>	<b>命の危険 直ちに安全確保！</b>	<b>緊急安全確保</b>	<b>5 相当</b>	<b>氾濫発生情報</b>	<b>大雨特別警報 (土砂災害)</b>
～<警戒レベル4までに必ず避難！>～					
<b>4</b>	<b>危険な場所から 全員避難</b>	<b>避難指示</b>	<b>4 相当</b>	<b>氾濫危険情報</b>	<b>土砂災害 警戒情報</b>
<b>3</b>	<b>危険な場所から 高齢者等は避難</b>	<b>高齢者等避難</b>	<b>3 相当</b>	<b>氾濫警戒情報 洪水警報</b>	<b>大雨警報</b>
<b>2</b>	<b>ハザードマップ等で 避難方法を確認</b>	<b>大雨注意報 洪水注意報</b>	<b>2 相当</b>	<b>氾濫注意情報</b>	-
<b>1</b>	<b>最新情報に注意</b>	<b>早期注意情報</b>	<b>1 相当</b>	-	-

図16：水害時の警戒基準

出典：足立区 地区防災計画作成の手引き<水害編>  
 ( <https://onl.sc/HqmzmTj> )

※市区町村長は、河川や雨の情報（警戒レベル相当情報）のほか、  
 地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等（警戒レベル）  
 の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出る  
 タイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

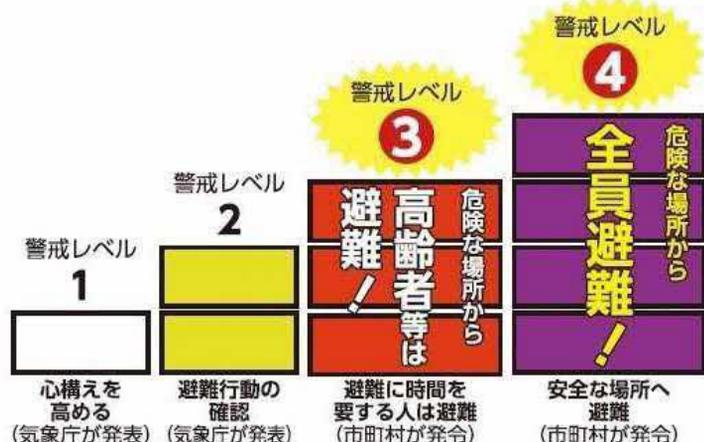
## 4-4. 警戒レベルについて -水害編-

### 市区町村から出される避難情報(警戒レベル)

❗ **避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。**  
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

❗ **危険な場所から警戒レベル3で〈高齢者等は避難〉、警戒レベル4で〈全員避難※1〉です。**

※1警戒レベル4「全員避難」は、高齢者等に限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。



警戒レベル4 避難指示で  
危険な場所から避難です

❗ **警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。**

- ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
- ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません!
- ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。

❗ **警戒レベル4は避難指示に一本化されました。**

- ・避難のタイミングを明確にするため、令和3年の災対法改正以前の警戒レベル4避難勧告と避難指示(緊急)は「避難指示」に一本化され、避難指示は令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令されます。
- ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。

❗ **警戒レベル3は高齢者だけの情報ではありません。**

- ・「高齢者等」は障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。
- ・さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。

❗ **豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。**

図17：水害時の警戒基準  
出典：足立区 地区防災計画作成の手引き〈水害編〉  
( <https://onl.sc/HqmzmTj> )

## 4-5. 避難について -水害編-

令和元年東日本台風（台風第 19 号）の際には、区内全域に避難勧告を発令し、小・中学校をはじめ、区内で 135 の避難所を開設しました。しかし、限られたスペースに不特定多数の人が避難するため、避難所には様々な制約も生じます。

**「即避難所へ」ではなく、あらかじめ必要なものを準備して、安全性を確認した上で自宅に留まる「在宅避難」、または浸水のおそれのない地域の親戚や知人宅、勤務先やホテルなどへ避難する「縁故等避難」も選択肢に加えてください。**

地域の特性や住宅の状況、知り合いの有無など、一人ひとりが避難の時期や方法を判断することが重要です。

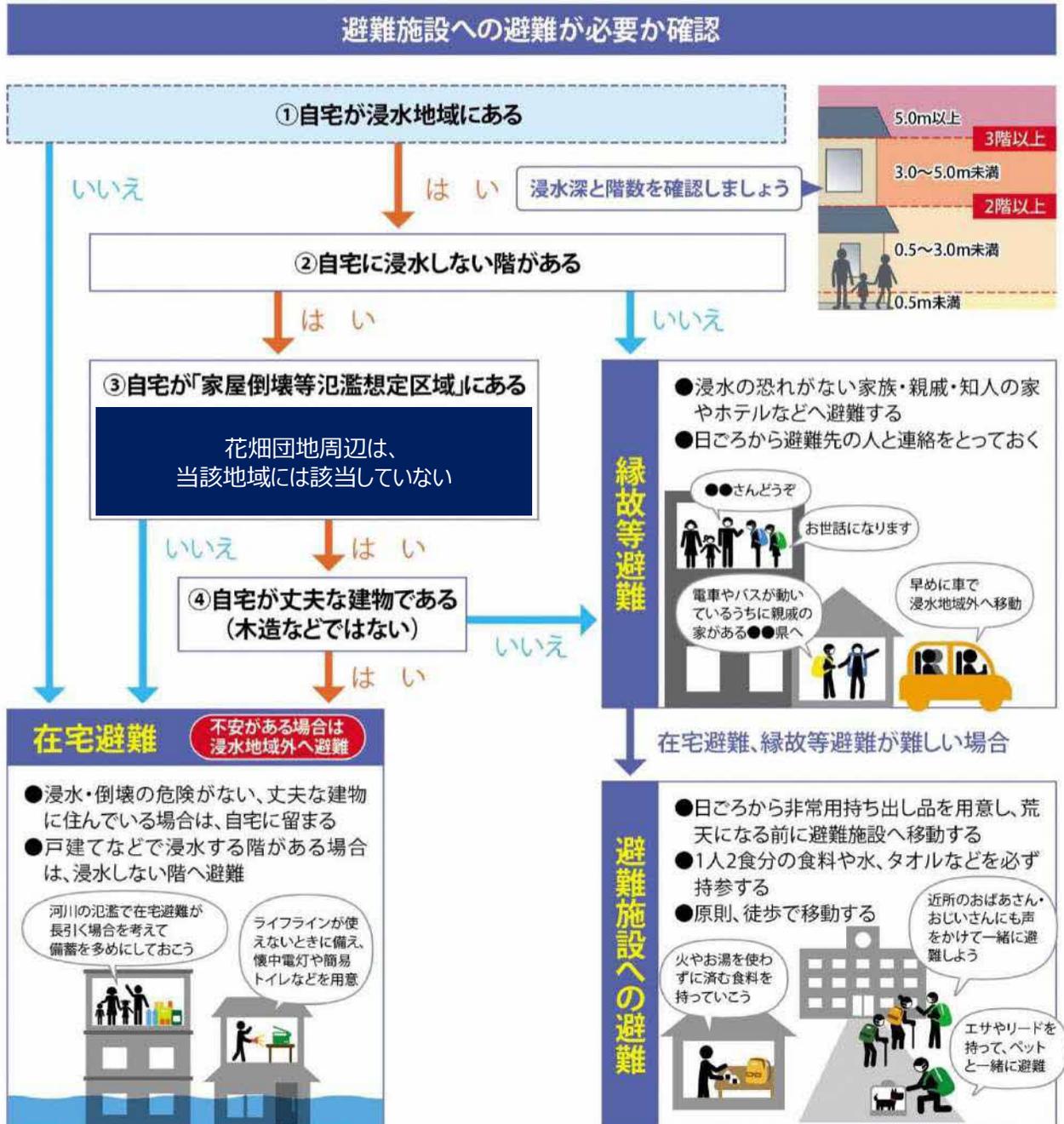


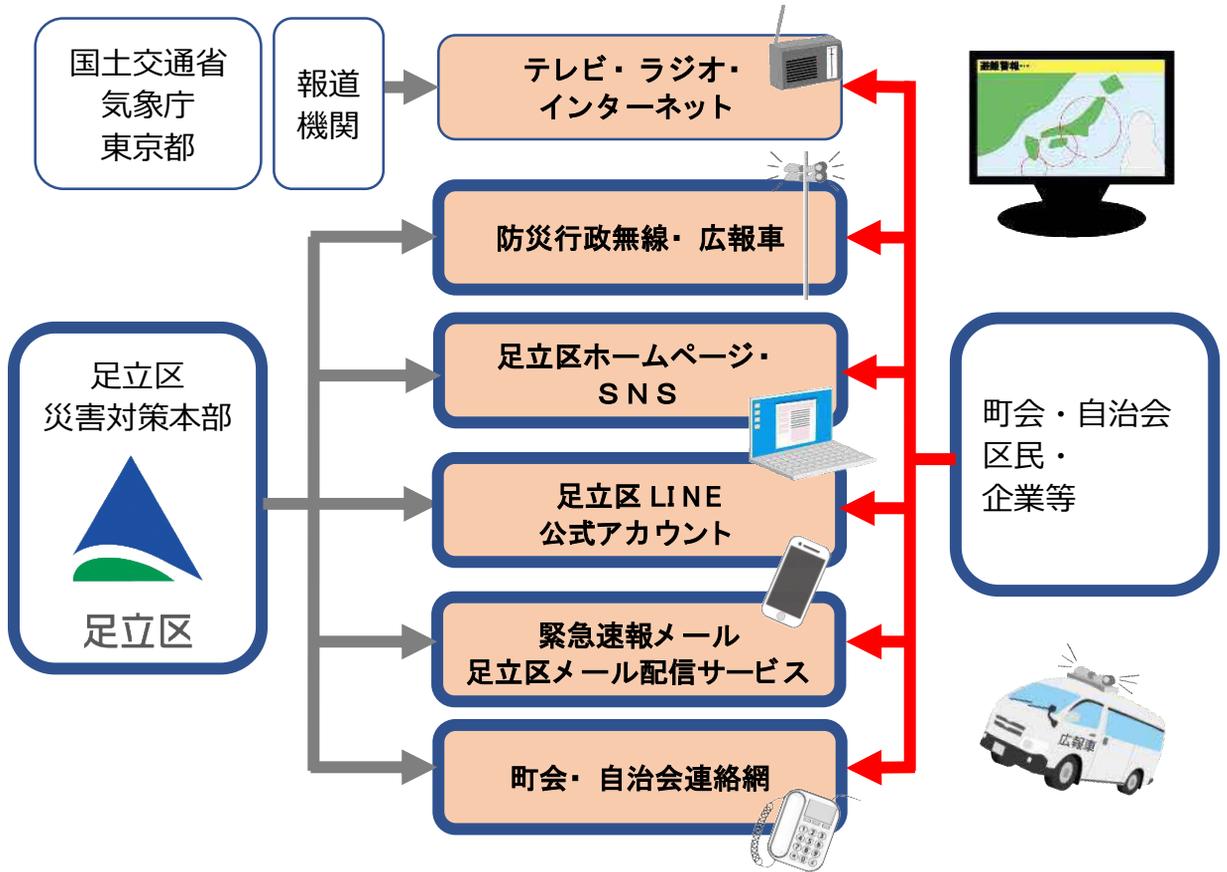
図18：分散避難について

出典：足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ 令和4年4月改訂

( <https://www.city.adachi.tokyo.jp/kikaku/bosai/bosai/hazard-map-k.html> )

## 4-6. 情報の入手

避難に関する情報は多くの手段で入手することができます。  
自ら積極的に入手しましょう。



災害時等に速やかに情報を伝達する手段として、防災行政無線屋外拡声装置（スピーカー）を設置しています。

「放送が聞き取れなかった」「もう一度聞きたい」ときに、放送内容を電話で確認することができるサービスが、「**防災無線テレホン案内**」です。

(1) 下記の電話番号に電話してください。

**足立区防災無線テレホン案内 0120-966-944**

(2) 24時間以内に放送された最新の放送が繰り返し流れます。

※ 他の方が通話中の場合は、放送の途中から再生されます。

繰り返し流れておりますので、途中からであってもそのまま聞き続けるとはじめに戻ります。

※ 通話料は有料となります。

(3) 防災無線の放送内容は、足立区のホームページからも確認できます。

図19：情報の入手 出典：地区防災計画の手引き（水害編）

## **5. 平時からの備え**

## 5-1. 平時からの活動

平時から一緒にお祭りやお餅つき大会などの行事を一緒に行ったり、一緒に音楽を奏でたり、町並みの整備にみんなで取り組むことで、有事の際の「助け合い」が生まれます。

行事における協働

### お餅つき大会



2023年1月21日開催  
毎年、1月頃に開催される  
花畑団地自治会主催の  
「お餅つき大会」。  
花畑ささえあいプロジェクトと  
協働し、太鼓の演奏や  
体験会が行われました。

音楽の演奏

### 太鼓の定期的な練習



花畑ささえあいプロジェクト主催で  
定期的に太鼓の練習会を開催。  
体力向上と演奏する際に生まれる  
共助の意識を育みながら  
活動を行っています。  
行事での演奏披露に向けて、  
鋭意練習中！

町並みの整備

### 花壇の整備



花畑団地自治会の皆様が  
行われている花壇の整備。  
季節ごとに、きれいな花々が  
団地を彩ります。

行事における協働

### 夕すずみ会



2023年7月30日開催  
花畑団地自治会主催の  
「夕すずみ会」。  
作成した地区防災計画の  
発表が行われました。



## 【要チェック！】平時からの備え

災害が発生してから準備をしていては、時すでに遅し。  
日常から少しずつ意識しておくことが「平時からの備え」です。

以下のことを意識しておきましょう。

- 誰かが号令をかけて始めてくれることではない。
- 自分自身、ご家庭の備えは「自分」で行うことが原則。
- 災害は、待ったなし。「いつか、いつか」の先延ばしが、大きな被害を及ぼす可能性がある。

怖がるのではなく、備えと心身ともに自分自身を鍛えておきましょう。

## 5-2. 家具転倒防止対策

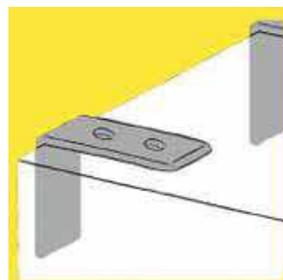
### 転倒・落下・移動防止対策

家具の転倒・落下・移動防止対策を行いましょ。最も確実な方法は、壁にL型金具でネジ止めすることです。また、それが難しい場合は、突っ張り棒とストッパー式、突っ張り棒と粘着マットを組み合わせると効果が高くなります。



### 転倒・落下・移動防止器具

転倒・落下・移動防止のために、器具を設置しましょう。L型金具や突っ張り棒、ガラス飛散防止フィルムなど、多様な転倒・落下・移動防止器具があります。ご自身の家の状況に合わせて適切なものを選び、設置しましょう。



L字金具



突っ張り棒

図20：自宅での家具類の転倒・落下・移動防止対策  
出典：東京都防災ホームページ

( <https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/bousai/1000027/1005737.html> )

### 家具等転倒防止工事・窓ガラス飛散防止工事助成制度

足立区では、家具などの転倒防止器具等の取付工事等に対して工事費の一部を助成する制度があります。

#### 助成対象工事（材料費のみは不可）

- 1.家具等の転倒防止及びこれらの扉の開放防止に必要な工事
- 2.建物の窓ガラス、又は家具等の窓ガラスに、飛散防止フィルムを貼る工事

#### 助成金額

限度額：10万円（令和8年3月末までの申請の場合）

出典：足立区 家具等転倒防止工事・窓ガラス飛散防止工事助成制度

( <https://www.city.Adachi.Tokyo.jp/k-bousai/machi/taishinka/tentoboshi.html> )

## 5-3. 備蓄品

いざという時に備え、最低3日分、できれば7日以上分の備蓄をしましょう。

- ✓ 食料は、特別な保存食を備蓄する必要はありません。以下に、日常使う食品を多めに用意して、使い回しながらいざという時のために備える方法「ローリングストック」を紹介します。

### <ローリングストック>

- (1) **買う**：パックご飯、即席麺、レトルト食品、缶詰め、水など、保存できる食品を多めに購入します。
- (2) **食べる**：古いものから順に、日ごろの食事で使っていきます。
- (3) **補充する**：ストックの量が3日分を下回る前に食品を買い足します。以後、(2)と(3)を繰り返します。

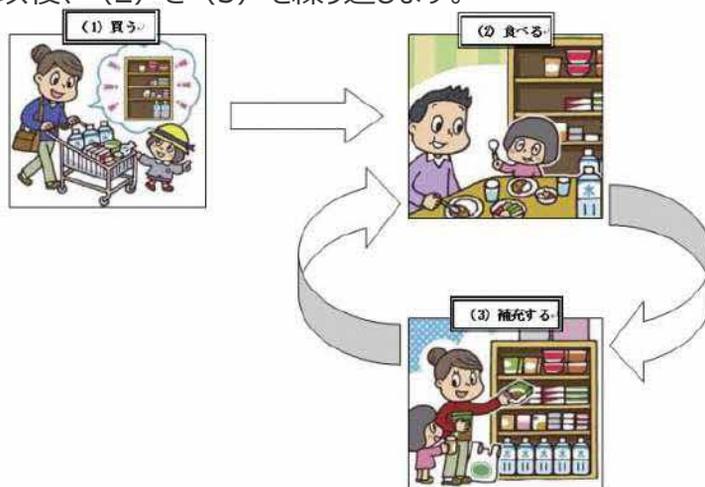


図21：家庭での災害対策

出典：足立区 備えあれば憂いなし！各家庭や地域での災害対策

( <https://www.city.adachi.tokyo.jp/saigai/jisinsaigainitaisurukokorogamae.html> )

- ✓ トイレは、水が止まったら流せません。下水管が破損していたら**逆流**の可能性もあるので、簡易トイレを準備しましょう。

### **【要チェック！】備蓄の目安**

以下は、あくまでも目安です。日頃からトイレの回数が多い、水分を多く摂る方だ、などご自身や大切な方の身体に合わせた備蓄をしましょう！

#### <備蓄品は最低3日分>

##### 食料

1人1日3食  
4人家族なら  
3食×4人×3日分  
=合計36食分

##### 水

1人1日3L  
(飲料水+生活水)  
4人家族なら  
3L×4人×3日分  
=合計36L

##### 簡易トイレ

1人1日5回  
4人家族なら  
5回×4人×3日分  
=合計60回分

## **6. 花畑地区における災害時の状況**

## 6-1. 災害時における花畑地区の状況

第2回地区防災計画ワークショップにて、  
花畑ささえあいプロジェクトにご参加いただいている各事業者様より、  
災害時の動き（タイムライン）について共有いただきました。

各事業者様の災害時の動きを確認し、  
災害時の花畑地区の状況をイメージしておきましょう。



↑地区防災計画にまとめる内容は、住民・学生・事業所の  
皆様が膝を突き合わせて話し合い、意見を集約していきました。



↑毎回の地区防災計画作成ワークショップが終了した頃には、  
みんなで話し合い、想像を深めて、心地よい疲労感と達成感が  
会場を包み込みました。

## 6-2. 各組織の災害時タイムライン

### 足立区役所

#### ① 災害直後～1週間の動き

##### ■直後（1～3日）

震度5弱以上で一部の区職員が参集。

震度6弱以上で全ての区職員が参集。

⇒災害対策本部を設置し、各部署の職員が行動。

※各部署の具体的な行動は部別行動計画に基づく。

水害時は、河川のはん濫など区内に被害の恐れがある場合、避難所の開設を決定。

避難所を開設・運営は、地域住民・学校職員・区職員の3者で行動。

##### ■4日目以降

住民生活の早期再建のため、応急危険度判定調査や被災証明の発行など被災時対応を行う。

発災直後から、業務継続計画(BCP)に基づき、通常業務を一部中止・縮小している。

#### ② 災害時に支え合えること

■情報発信（HP、A-メール、防災アプリ、SNSなど）

■防災無線テレホン

防災無線テレホン番号:050-5527-2305

■救援物資の配給 など

## 6-2. 各組織の災害時タイムライン

### 足立区地域包括支援センターはなはた

#### ① 災害直後～1週間の動き

##### ■直後

震度5強で参集 ※時間関係なく  
(法人規定のため各包括により動きは異なる)

##### 【地域包括】

・地域内高齢者約6,900人のうち地域包括で関わっている240人に  
対して職員8名等で安否状況の確認を行う(自転車で10～15分範囲)

##### 【特別養護老人ホーム】

・特養が最優先  
入居者 236名  
職員数 日中 平均100名  
夜間 平均11名

・ショートステイ・デイサービス →自宅に安全に帰す

##### ■1日目以降

二次避難所として指定されている。開設が決まれば、  
一般の方の受け入れができない避難所として運営。

#### ② 災害時に支え合えること

##### ■安否確認

安否確認などは職員で十分/困っている高齢者の情報が欲しい

##### ■物資などを運ぶ際の力仕事でサポートが必要

##### ■不安な想いをしている入居者の見守り

## 6-2. 各組織の災害時タイムライン

### 株式会社URコミュニティ

#### ① 災害直後～1週間の動き

##### ■ 直後

- ① 震度6弱以上の地震が発生したとき
- ② その他災害において組織的な災害対策の実施が必要なとき  
上記のいずれかの場合に、城北住まいセンターに「災害対策室」を設置し、被害状況を収集  
(※夜間や休日等は、あらかじめ指定した社員が「災害対策室」に参集)

##### ■ 1日後以降

- ・ 順次、必要な応急措置を実施

#### ② 災害時に支え合えること

##### ■ 災害時の情報共有

UR花畑団地に関する被害状況等の情報共有

## 6-2. 各組織の災害時タイムライン

### 社会福祉法人 足立区社会福祉協議会

#### ① 災害直後～2週間の動き

##### ■直後

- 1 施設利用者（来客者等）の安全確保
- 2 施設の被害状況の確認及び 散乱物の片づけ  
（破損か所の 応急措置等）
- 3 職員動員数(参集人数)の把握(安否確認含む)
- 4 各種問合せ対応

##### ■3日～7日目

- 1 区と共同で災害ボランティアセンターの設置・運営  
※区の地域防災計画  
及び「災害時における支援協力に関する協定書」に基づき行動

##### ■14日目

- 1 特例貸付開始
- 2 通常業務再開への準備

#### ② 災害時に支え合えること

##### 【事前の備え】

- 災害ボランティア登録募集（令和5年5月現在317名登録）
- 災害ボランティアセンター運営マニュアルの改訂
- 災害ボランティア活動の資機材の調達等
- 災害ボランティアセンター設置運営訓練
- ボランティア講座の開催（年4回）など

## 6-2. 各組織の災害時タイムライン

### 社会福祉法人檸檬会 レイモンド花畑保育園

#### ① 災害直後～1週間の動き

##### ■直後

最後の園児の引き取りが終わるまで待機。  
園長・主任と正社員、パートの体制で動くが、パートから帰宅。  
次に正社員。そして主任、園長。  
家族の対応が必要な職員は優先的に帰宅。

職員は子どもの対応で追われる可能性が高い。  
保護者の引き取りで園周辺が混乱するかもしれない。

##### ■1日目以降

1日目以降の勤務は、被害状況に応じて、  
行政（足立区）と法人の判断に従う。

園の運営で職員は対応に追われるため、  
被害状況に合わせて対応する。

#### ② 災害時に支え合えること

- 園内の通常開園が優先となるが、落ち着いたら、避難所運営などで協働できると思う。
- 災害直後、保護者の引き取りが一気に来る可能性がある。園周辺の整備などで協力をお願いしたい。

## 6-2. 各組織の災害時タイムライン

### 花畑団地自治会

#### ① 災害直後～1週間の動き

##### ■ 直後

- ・避難所開設のために一部役員は避難所に参集
- ・安否確認  
東日本大震災の時は、  
役員数名がスピーカーをもって安否確認にまわった  
→現在では高齢者も増え耳が遠い方がいたり、  
人手が足りないといった課題も。

##### ■ 1日目以降

- ・なごみ,集会所を開放し、  
困っている人への対応をしたり、  
孤独な方への憩いスペースとして提供する
- ・物資の運搬

#### ② 災害時に支え合えること

- 安否確認
- 災害時のなごみスペースの運営
- 情報交換（足りないことへの対応）

## 6-2. 各組織の災害時タイムライン

### 花はたりハビリテーション病院・リハビリホーム花はた

#### ① 災害直後～1週間の動き

##### ■直後

##### ・病院の職員体制

日中 1階：50人 2～5階：各45名 計約95名

夜間 計10名

入院患者 150～160名

##### ・リハビリホーム花はたの職員体制

日中 事務3名 介護職員12名 調理スタッフ15名 計約30名

夜間 介護職員3名

入居者 9割要介護者（入居者約85名）

##### ■1日目以降

職員の家庭の状況も踏まえ、  
法人グループ内で協力体制をとりながら対応。

基本的に垂直避難。

夜間緊急で避難が必要な場合、  
マンパワー不足が懸念される。

#### ② 災害時に支え合えること

##### ■状況が落ち着いてからの炊き出し

（ただし、食糧の備蓄は別途必要。状況による。）

##### ■避難時に協力をお願いしたい

##### ■リハビリホーム花はたの1階スペースの開放

（入居者の安全確保が最優先）

##### ■避難所生活している方へ深部静脈血栓症の予防講座

##### ■運動機能維持のための運動指導

### 6-3. 各組織の災害時タイムラインマップ



- 足立区役所
- 足立区社会福祉協議会

直後

#### <花はたリハビリテーション病院> <リハビリホーム花はた>

病棟の職員体制  
 日中 1階：50人 2～5階：各45名 計約95名  
 夜間 計10名  
 入院患者 150～160名  
 リハビリホーム花はたの職員体制  
 日中 事務3名 介護職員12名 調理スタッフ15名 計約30名  
 夜間 介護職員3名  
 入居者 9割要介護者（入居者約85名）

#### 文教大学東京足立 キャンパス (R3.4開学)

#### <足立区役所>

■直後（1～3日）  
 震度5弱以上一部の区職員が参集。  
 震度6弱以上で全ての区職員が参集。  
 ⇒災害対策本部を設置し、各部署の職員が行動。  
 ※各部署の具体的な行動は部別行動計画に基づき。  
 水害時は、河川のはん濫など区内に被害の恐れがある場合、避難所の開設・運営は、地域住民・学校職員・区職員の3者で行動。避難所の開設・運営は、地域住民・学校職員・区職員の3者で行動。

#### <足立区社会福祉協議会>

- 施設利用者（来客者等）の安全確保
- 施設の被害状況の確認及び散乱物の片づけ（破壊か所の応急措置等）
- 職員動員数（参集人数）の把握（安否確認含む）
- 各種問合せ対応

#### <URコミュニティ>

①震度6弱以上の地震が発生したとき  
 ②その他災害において組織的な災害対策の実施が必要なとき  
 上記のいずれかの場合に、城北住まいセンターに「災害対策室」を設置し、被害状況を取集  
 （※夜間や休日等は、あらかじめ指定した社員が「災害対策室」に参集）

#### 地域包括

#### <足立区地域包括支援センターはなはた>

震度5強で参集 ※時間関係なく（法人規定のため各包括により動きは異なる）  
 【地域包括】  
 ・地域内で関わりのある高齢者240人（自転車で10～15分範囲）  
 に対して、安否状況の確認・職員は7名  
 【特別養護老人ホーム】  
 ・特養が最優先  
 入居者：236名 職員数：（日中）平均100名（夜間）平均11名  
 ・ショートステイサービス→自宅へ安全に帰す

#### <花畑団地自治会>

・避難所開設のため一部役員は避難所に参集  
 ■安否確認  
 ・東日本大震災時は、役員数名が安否確認  
 →現在は高齢者の増加から、耳の遠い方がいたり、人手不足といった課題

#### <レイモント花畑保育園>

最後の園児の引き取りが終わるまで待機  
 ■家族の対応が必要な職員は優先的に帰る  
 職員は子どもの対応で追われる可能性  
 保護者の引き取りで周辺が混乱の可能性



### 6-3. 各組織の災害時タイムラインマップ

1日目以降

<花はたリハビリテーション病院>  
<リハビリホーム花はた>

職員の家族の状況も踏まえ、法人グループ内で協力を体制をとりながら対応。

基本的に垂直避難。  
夜間緊急で避難が必要な場合、リハビリ不足が懸念される。

<URコミュニティ>

順次、必要な応急措置を実施

<花畑団地自治会>

- なごみ、集会所を開放し、困っている人への対応や、孤独な方への思いやりサービスとして提供
- 物資の運搬



<足立区役所>

- 4日目以降  
住民生活の早期再建のため、応急危険度判定調査や、り災証明の発行など被災時対応を行う。
- 被災直後から、業務継続計画(BCP)に基づき、通常業務を一部中止・縮小

<足立区社会福祉協議会>

- 3日～7日目  
区と共同で災害ボランティアセンターの設置・運営
- ※ 区の地域防災計画及びり災害時における支援協力に関する協定書に基づき行動
- 1.4日目  
1 特別貸付開始 / 2 通常業務再開への準備

<足立区地域包括支援センターはなはた>

- 二次避難所として指定
- 開設が決めれば、一般の方の受け入れができない避難所として運営

レイモンド花畑保育園 (H28～)

<レイモンド花畑保育園>

- 勤務は、被害状況に応じて、足立区と法人の判断に従う
- 園の運営で職員は対応に追われるため、被害状況に合わせて対応

足立区役所  
足立区社会福祉協議会

# 6-3. 各組織の災害時タイムラインマップ



足立区役所  
足立区社会福祉協議会

**<花はたリハビリテーション病院>**  
**<リハビリホーム花はた>**

- 状況が落ち着いたら炊き出し
- ※ 食糧の備蓄は別途必要。
- 避難時に協力をお願いしたい
- リハビリホーム花はたの1階スペースの開放 (入居者の安全確保が最優先)
- 避難所生活している方へ梁部静脈血栓症の予防講座
- 運動機能維持のための運動指導

**<足立区役所>**

- 情報発信 (HP、Aメール、防災アプリ、SNS等)
- 救援物資の配給 等

**<足立区社会福祉協議会>**

事前の備え

- 災害ボランティア登録募集
- 災害ボランティアセンター運営マニュアルの改訂
- 災害ボランティア活動の賞機材の調達等
- 災害ボランティアセンター設置運営訓練
- ボランティア講座の開催 (年4回) など

**<URコミュニティ>**

- 災害時の情報共有
- UR花畑団地に関する被害状況等の情報共有



地域包括

ベルクスモール  
足立花畑

ベルクス (事務所)

共同花壇 (H24~)

**<花畑団地自治会>**

- 安否確認
- 災害時のなごみスペースの運営
- 情報交換 (定めないことへの対応)

**<足立区地域包括支援センターはなはた>**

- 安否確認
- 特に困っている高齢者の情報が欲しい
- 物資等を運ぶ際の力仕事でサポート必要
- 不安な想いをしている入居者の見守り

レイモント花畑保育園  
(H28~)

**<レイモント花畑保育園>**

- 通常開園が優先、落ち着いたら避難所運営などで協働できる
- 災害直後、保護者の引き取りが一気に来る可能性
- 園周辺の整備などで協力をお願いしたい

## 参考 マイタイムラインを作成しよう！（地震編）

地震が発生した際に自分自身そして大切な人がどのように行動すべきか、事前に話し合い時系列でまとめておくことも大切です。

平日・土日、発生時間によって、それぞれがどこにいてどのような状況になるのか想像しながら作成してみましょう。

以下のタイムラインは考える際の基本の行動となります。  
参考にしなが、それぞれの行動に合わせて書き加えましょう。

時系列	直後	数時間後	1日後	3日後以降
状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強い揺れ</li> <li>・何が起きたかしばらく把握ができない。</li> <li>・家の中の家具が散在 <b>(状況を掴む)</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震源地などの情報有</li> <li>・家族との安否確認が取れず混乱状態</li> <li>・一方で片付けをしている人も</li> <li>・火災発生の可能性もある <b>(被害により様々)</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所では物資の配給（備蓄品）</li> <li>・家に帰る人もいれば、避難所で生活する人も。</li> <li>・先がわからない状況でそれぞれが動いている。 <b>(必要なことに身体は動く)</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物資がトラックで届き始める。</li> <li>・食事が足りないなど、要求が高まってくる。</li> <li>・避難生活が長引く気配を感じ、不安感が充満</li> <li>・新たに避難所に来る人も <b>(個別の要求が出てくる)</b></li> </ul>
行動	<ol style="list-style-type: none"> <li>①自分の身を守る！</li> <li>②家族の状況確認</li> <li>③ご近所の状況確認</li> <li>④水道管の状況の確認が取れるまで、トイレの水を流さない</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①落ち着いて安否確認</li> <li>②避難所に行くかどうか。居る場所の安全確認</li> <li>③可能であれば、避難所運営を手伝う</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①自分と家族の安全が確保できていたら、視野を外に向ける。</li> <li>②積極的に手伝う。</li> <li>③見えていないところで、困っている人はいないか見回りをする。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①被災はみんな一緒。わがまを言わない。</li> <li>②情報を収集しながら、必要な対応を一人ではなく、対話しながら進める。</li> </ol>

# 参考 マイタイムラインを作成しよう！（水害編）

## マイタイムラインとは？

**マイ・タイムライン**とは**住民一人ひとりの災害時における行動計画**であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列に沿って整理し、自ら考え、命を守る避難行動のための一助とするものです。

事前に計画を立てておくために、市区町村が作成・公表した洪水ハザードマップを参考に、自らの様々な洪水において、**どのような影響が起こる可能性があるのかを知り**、どのような避難行動が必要か、また、**どのようなタイミングで避難することが良いのかを自ら考え**、さらには、**家族と一緒に日常的に考えて準備しておく**ものです。

東京の大きな川のそばにお住まいの東さん一家のマイ・タイムライン



私(夫) 東京太郎：町内会で活動  
妻 東京香  
子ども 東京之助  
母 東京子：持病がある。

※妹一家が数駅先の高台に住んでいる。

### 台風が近づいているとき!

名前 東京太郎  
家族構成 夫、妻、子、母

警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	避難に関する情報	自主避難など注意の呼びかけ	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
必要な情報	大雨に関する気象情報	大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	暴風警報	暴風警報
	風に関する気象情報	強風注意報		暴風警報	暴風警報
	高潮に関する情報	高潮注意報	高潮警報	高潮警報	高潮警報
	河川の氾濫に関する情報	氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫危険情報
	土砂災害に関する情報			土砂災害警戒情報	土砂災害警戒情報

3~5日前 6時前

ハザードマップを確認したら、家が浸水することがわかった

母は早めに避難するので、「大雨・洪水注意報」などが発表された段階で、準備開始!

これら妹の家で「お世話になる」ことを伝える

母の携帯電話を確認

町内会で待てる再確認

町内に声かけ

自分の避難に影響が出ない範囲で町内に避難の声かけ

自分は町内に避難の呼びかけを行ってから避難開始

避難開始(私)

避難開始(妻)

避難完了

避難完了

災害発生又は切迫

避難する場所 妹の家

ハザードマップで妹の家は浸水しないことを確認

図22：手書きで作るマイ・タイムライン（令和4年8月更新）

出典：東京都防災ホームページ

(<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/mytimeline/1006417.html>)

名前 \_\_\_\_\_  
家族構成 \_\_\_\_\_

# 台風が近づいているとき!



3~5日前

警戒レベル	1	2	3	4	5
-------	---	---	---	---	---

**避難情報**

避難に関する情報

自主避難など 注意の呼びかけ

**高齢者等避難**

**避難指示**

緊急安全確保

**必要な情報**

大雨に関する気象情報………**大雨・洪水注意報** (大雨や洪水となる3~2時間前発表)

風に関する気象情報………**強風注意報** (強風となる6時間前発表)

▼お住まいの地域によって必要となる情報 必要な情報に◎か○のマークを貼りましょう!

高潮に関する情報………**高潮注意報** (高潮となる6時間前発表)

河川の氾濫に関する情報………**氾濫警戒情報** (氾濫危険情報) (飲料水・1時間前発表)

土砂災害に関する情報………**土砂災害警戒情報** (土砂災害の危険度が高まる最大2時間前発表)

◎: 特に必要な情報  
○: 必要な情報  
(およその時間)

(注) 警戒レベル別防災気象情報は必ずしもこのとおりの順番で発表されるには限りず、あくまで目安です。

**行動**

**私と家族**

**地域**

避難する場所 \_\_\_\_\_

**災害発生又は切迫**

## **7. 災害対策本部の立ち上げと体制**

## 7-1.災害対策本部の位置づけと役割

地区防災計画作成ワークショップ内にて、足立区が設定している「避難所」とは別に、状況がある程度落ち着いてから「花畑団地の方々が集まる場」として、花畑ささえあいプロジェクトが主体となって「災害対策本部」を花畑団地サロンなごみに開設・運営することとなりました。

みんなで協力して、地域に安心をお届けする災害対策本部をつくっていきましょう。

### ＜災害対策本部の主な役割＞

- ・災害時、地域住民が集まる場
- ・地域の皆様に「安心」を提供する場
- ・地域の情報を収集、発信する場
- ・地域の皆様の安否を確認する場
- ・地域の皆様で協力して助け合う場

## 7-2.災害対策本部の立ち上げの手順

災害対策本部は、以下の手順で開設します。

- ① 発災直後は、足立区で指定されている避難所の運営に花畑団地自治会から8名ずつ2箇所への動員が決められている。  
上記16名の住民は自身と身近な人の安全を確保したのち避難所へ向かう。
- ② 上記16名以外の住民を中心に、自身と身近な人の安全を確保したのち「花畑ささえあいプロジェクト 災害対策本部」の立ち上げを行い、運営を始める。
- ③ 「花畑ささえあいプロジェクト 災害対策本部」を立ち上げる場所は、集会所内にある「なごみ」とする。
- ④ 時間経過とともに、自身と身近な人の安全が確保された事業所職員や学生などが可能な範囲で加わり、運営に携わる。

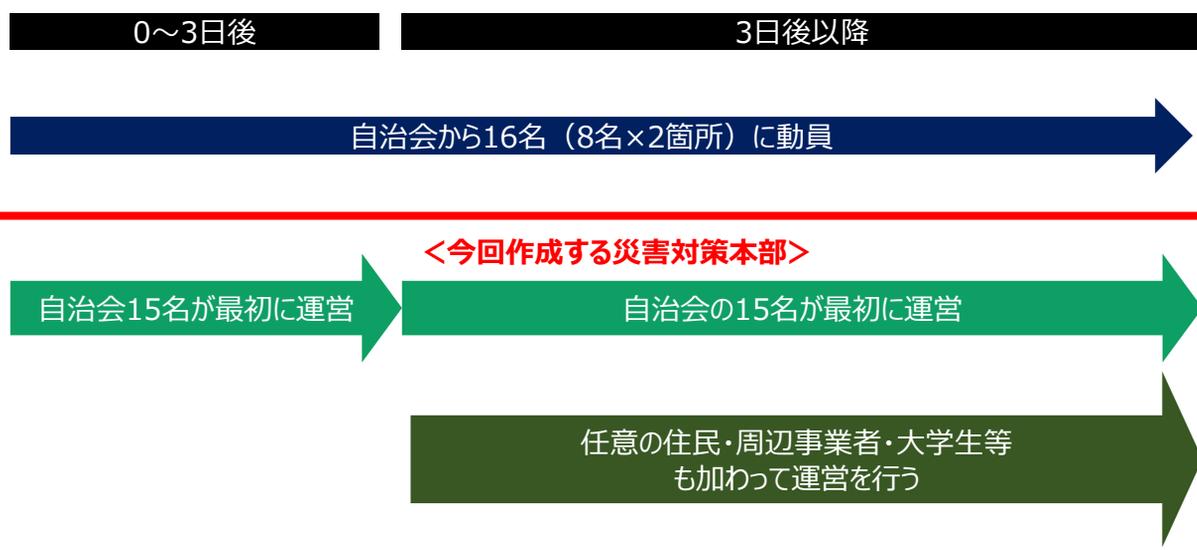


図23：花畑ささえあいプロジェクト 災害対策本部立ち上げのイメージ（花畑ささえあいプロジェクト作成）

### **【要チェック！】災害対策本部を立ち上げるために…**

今後、誰がどのように災害対策本部の運営を進めていくのか、任意のボランティアである住民、事業者、また、災害時に支援で駆けつけてくださるボランティアの方々とチームを作っていきます！

### 7-3.災害対策本部の体制図・役割分担

全5回のワークショップを通じて、災害対策本部の枠組みを話し合ってきました。現状、組織は以下の体制を基本として、立ち上げ・運営を行います。

- ① あらかじめ決定している本部長が中心となり、組織を立ち上げ・運営を行う。
- ② 本部長が不在の場合、副本部長が主体となり組織の立ち上げ・運営を行う。
- ③ 副本部長は、主に「情報部門」と「実働部門」に役割を分けて運営を推進する。
- ④ 「情報部門」は、住民の安否確認、周辺事業所の状況把握、被害状況の把握など情報の循環・整理を担う。
- ⑤ 「実働部門」は状況に応じて、炊き出しや配給の実践、サポートが必要な方の支援、ボランティアの受け入れなど、実働を伴う活動を推進する役割を担う。
- ⑥ 災害対策本部と対象地域内の事業所は、頻繁に、かつ具体的な情報共有を行える体制を築く。
- ⑦ 救護部は、対応が必要な人を発見した場合、無理せずできる限りの対応をし、処置などは専門家に委ねる。

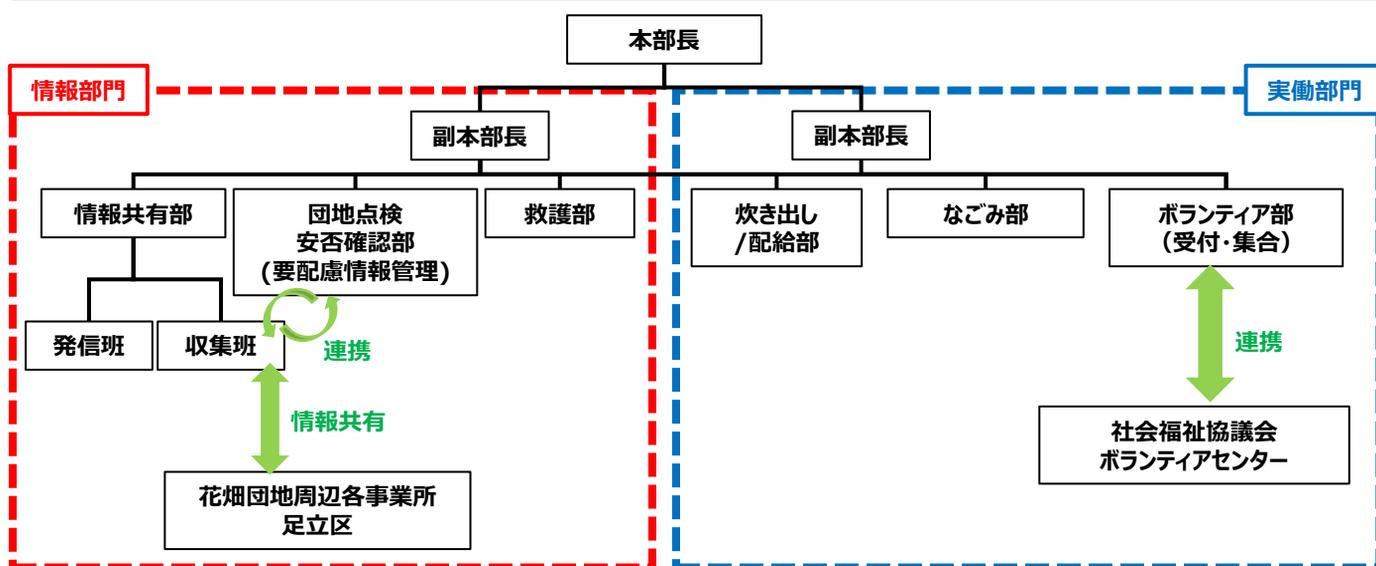


図24：災害対策本部組織図案（花畑ささえあいプロジェクト作成）

上記組織図を基本とし、各役割を誰が担っていくかを今後具体的に決めていきましょう。

## 8. 災害時の活動

## 8-1.情報確認手段・伝達経路

災害時は情報が錯綜し、事実ではない情報が広がってしまう恐れがあります。できるだけ、誤解を生まないように情報収集と伝達が重要です。

地区防災計画作成ワークショップ内では、下記のアイデアが挙がりました。

今後、防災訓練を通じて内容を検証していきましょう。

- ①情報は、集会所内「なごみ（災害対策本部）」に集約する。
- ②電子媒体が使えなくなる可能性を加味し、  
「なごみ（災害対策本部）」に設置するホワイトボードにまとめる。
- ③情報共有部が中心となり、管理・更新を行う。
- ④集約された情報は、在宅避難住民に伝達するために、  
拡声器などで定期的に発信活動を行う（団地内を巡回）。
- ⑤LINEなどSNSが使用可能な場合は、  
「花畑ささえあいプロジェクト」のLINEグループで必要情報を発信する。  
(※誰もが発信できる体制はつくり、  
情報共有部が慎重に管理した情報のみを発信する)
- ⑥周辺事業所との情報集約・発信をできるだけ密に行う。

## 8-2. 安否確認推進活動

地区防災計画の初版作成にあたり、災害発生直後の安否確認の必要性、また、安否確認を行う事業所や担当委員の方々が複数存在していることがわかりました。

一方で、各団体や委員の方々も人数が限られており、住民も参加し、分担することの必要性も明らかになりました。

今後、安否確認をどのように実施し、情報伝達をどのように行うのか、前頁のアイデアも参考にしつつ、第2版作成に向けた更新の会議の際に話し合っていきましょう。

情報伝達経路の整理、安否確認の仕組みを構築していく上で必要な段取り

- ① 災害時に計画されている現段階の安否確認方法を整理し、まとめる。
- ② 安否確認は戸別の自宅を訪問する可能性があるため、訓練自体にも参加意向があるかどうかを住民に問いかける取り組みを行う。
- ③ 参加意向のある方と共に、安否確認訓練を実施する。
- ④ 参加意向があったが参加できなかった住民に  
対策案などを一緒に検討いただく。
- ⑤ 対策案を反映して、次の安否確認訓練実施の計画を立て、実行する。
- ⑥ 訓練を繰り返し、参加者の増加促進を図る。
- ⑦ 無理せず、可能な形の訓練体系を組み、災害時に実践的に行うことができる、  
安否確認の仕組みづくりを行う。
- ⑧ 安否確認の仕組みを次版の地区防災計画に反映する。

### 8-3. 団地防災マップ

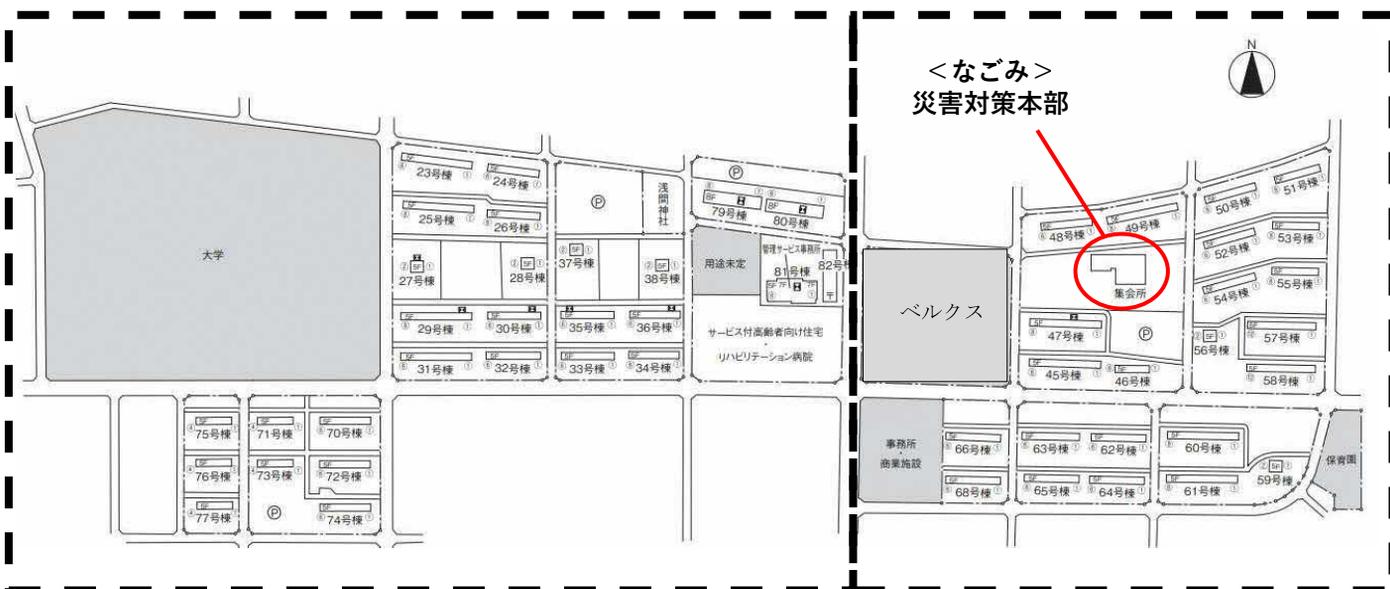
2023年7月1日に実施した、「第5回 みんなでつくろう防災計画（地区防災計画作成ワークショップ）」にて、「団地歩き」を実施。

団地内の危険箇所や消火器・AED設置場所等の確認を行い、団地防災マップを作成しました。

(団地歩きの様子)



< 団地歩き対象区域 >



西側 (P62)

東側 (P61)

# 8-3.団地防災マップ

東側

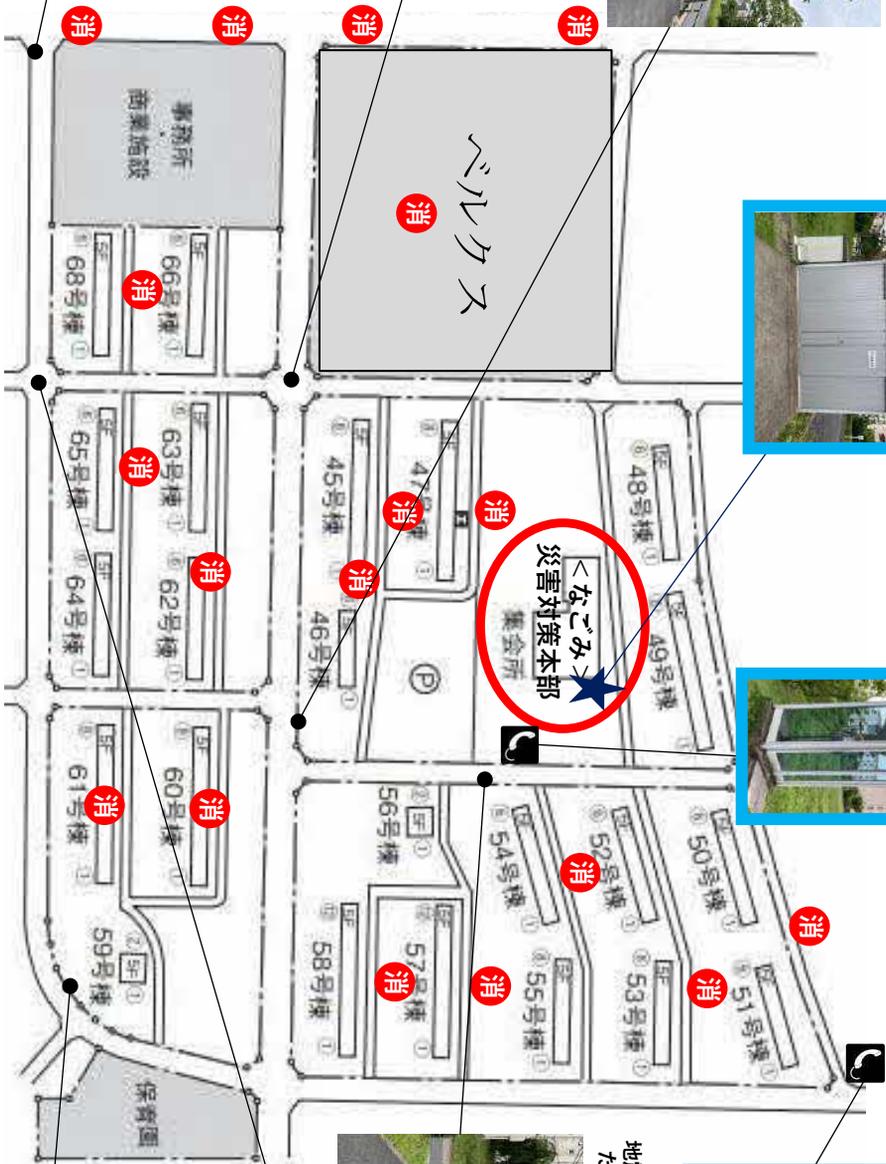
災害時、木が倒れて歩道を塞いで  
しまう恐れがあります。  
注意しましょう。



交通量の多い交差点。  
注意して横断しましょう。



道幅が狭くなっています。  
車椅子での通行の際は  
気をつけましょう。



防災倉庫

公衆電話

公衆電話

電線の多い道路。  
地震後は電線が垂れてくる恐れもある  
ため、気をつけて通行しましょう。



災害時、木が倒れて歩道を塞いで  
しまう恐れがあります。  
注意しましょう。



消 = 消火器

# 8-3.団地防災マップ

西側

災害時、木が倒れて歩道を塞いで  
しまふ恐れがあります。  
注意しましょう。

駐車場から急に車が出てくるかも。  
気をつけて通行しましょう。

防災倉庫

地震時、プロック塀が  
倒れてくる恐れも。  
気をつけて通行しましょう。

道幅が狭くなっています。  
車椅子での通行の際は  
気をつけましょう。

道幅が狭くなって  
います。車椅子  
での通行の際は  
気をつけましょう。

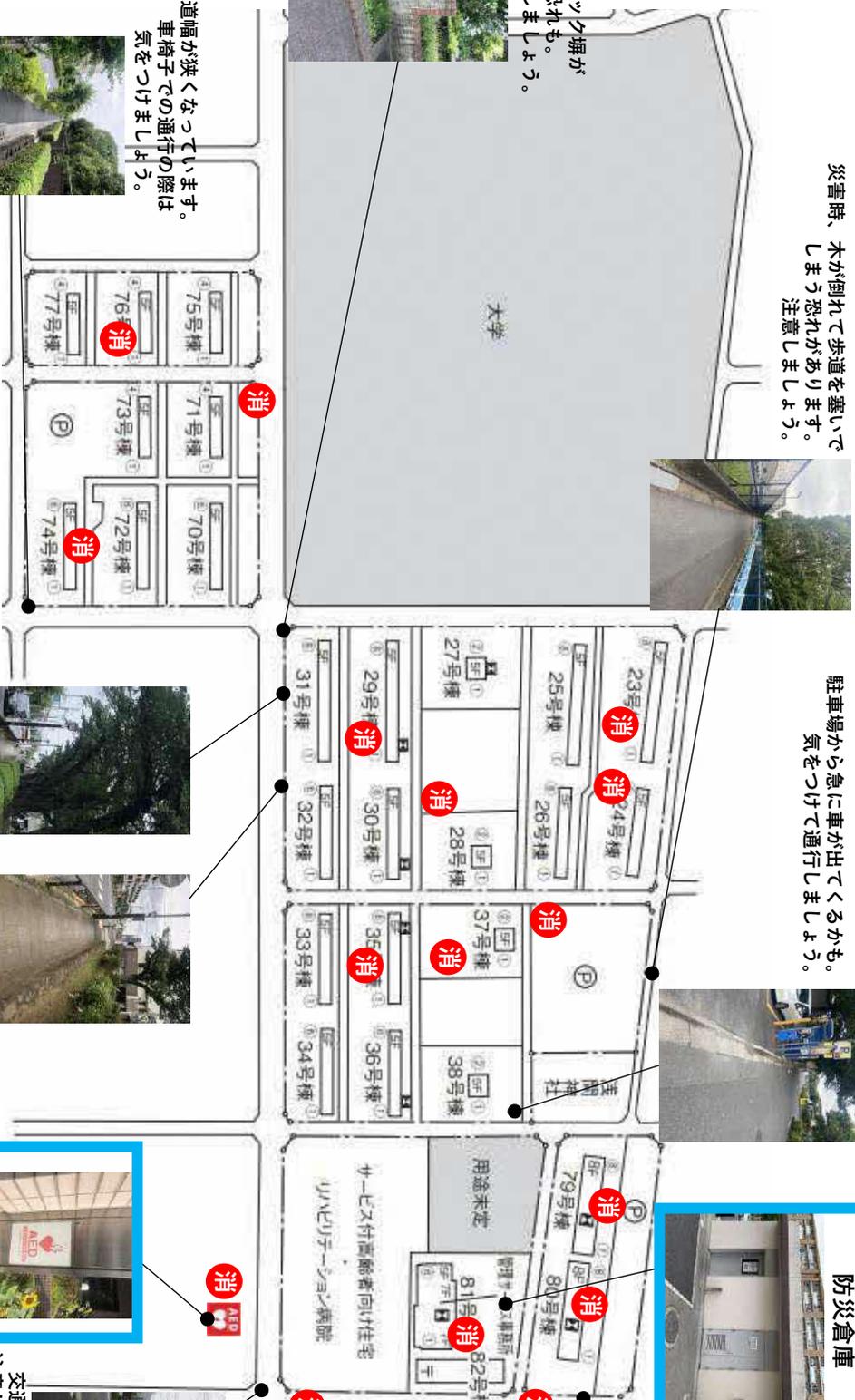
交通量の多い交差点。  
注意して横断しましょう。



**AED**  
(社会福祉法人聖風会  
足立新生苑/  
ダイサービスセンター  
はなはた内)



**消** = 消火器



## 9. 日常での防災活動

## 9-1.防災訓練の実施計画

下記頻度での防災訓練の実施を目指します。

### 年に1回～2回の防災訓練の実施

【訓練メニュー案】

#### ① 安否確認訓練

安否確認推進運動を継続的に行い、発災直後の助け合い体制を構築する。

#### ② 炊き出し訓練

発災数日後、自身の安全を確保できたら、少しずつ協力して、温かい食事をみんなで食べる体制を整えるために炊き出しの練習を行う。

#### ③ 備蓄品確認訓練

かまどベンチを定期的を使用し、劣化・故障などがないか確認を行う。  
備蓄倉庫内の備品など期限切れなどが発生していないか確認する。



→防災キャンプ（2023年7月29日）時の炊き出しの様子。  
花畑団地内にある「かまどベンチ」を活用

### 【要チェック！】訓練の実施計画

無理な計画を立てずにできることからできる範囲で実施し、「継続的」に多様な方が参加できる訓練を実施していきましょう。

以下のことを意識しておきましょう。

- できるだけ多くの方の参加できるように声かけは地道に丁寧。
- 盛大に行うことを目指すのではなく、その場にいる方々と一緒に、会話をしながら、一つひとつの不安や疑問を解消していく。
- 集まった時に少し「楽しめる」要素を入れると、訓練が日常からの楽しみに変わるかも。楽しみながら一緒に備える意識を。

こんな訓練をしたい！などアイデアがあれば、みんなで考え、実践と改善を繰り返して備えを強化していきましょう。

## 9-2.地区防災計画の更新計画

花畑ささえあいプロジェクトでは全5回のワークショップを通じ、地区防災計画の枠組みを作成してまいりました。今後はより具体的に、「誰が」「どの役割を」担うかを決めていく必要があります。

また、地区防災計画は一度作成して終わりではなく、環境や住民構成、新しい事業所ができるなど変化が起こる毎に更新の必要があります。

以上をふまえ、下記の更新体制を目標に更新していきましょう。

- ① 「花畑ささえあいプロジェクト」事務局を中心に  
年に1回～2回の訓練開催毎に合わせて見直し更新する。
- ② 防災訓練を行う際には、できるだけ多くの住民や事業所に声をかける。
- ③ 参加が難しい住民や事業所も声を挙げられるよう工夫する。

# MEMO

# 花畑団地 地区防災計画

花畑ささえあいプロジェクト  
2023年7月